

SDM-V

SD-Gate V Manager Ver. 1.0 操作ガイド



フジデジタルイメージング株式会社

本書の内容は予告なしに変更されることがあります。
Windows は米国 Microsoft の登録商標です。
FeliCa および PaSoRi は Sony 株式会社の登録商標です。
All Right Reserved 2011. フジデジタルイメージング株式会社

目次

1. はじめに	1
■1.1 はじめに	1
■1.2 動作環境	1
■1.3 SDM-V のしくみ	2
■1.4 基本的な使用手順	4
2. インストール / アンインストール	6
■2.1 SDM-V のインストール	6
■2.2 指紋スキャナのドライバのインストール	9
■2.3 IC カードリーダーのドライバのインストール	13
■2.4 2台以上の PC に SDM-V をインストールする場合	14
■2.5 SDM-V のアンインストール	19
3. SDM-V の起動	21
■3.1 はじめて起動するとき	21
■3.2 管理者ログイン	22
4. 部署管理	24
■4.1 部署情報の新規登録	24
■4.2 部署情報の照会	25
■4.3 部署情報の編集	25
更新	25
削除	26
■4.4 部署情報の詳細設定を編集	26
所属ユーザの追加	26
所属ユーザの削除	27
5. ユーザ管理	29
■5.1 ユーザ情報の新規登録	29
■5.2 ユーザ情報の照会	30
■5.3 ユーザ情報の編集	30
更新	30
削除	31
■5.4 ユーザ情報の詳細設定を編集	32
IC カードの登録	33
IC カードの照合	33
IC カードの削除	33
指紋の登録	33

	指紋の照合.....	36
	指紋の削除.....	36
	認証方法の選択.....	36
	ゲート権限の選択.....	37
	通行許可ゲートの追加.....	37
	通行許可ゲートの削除.....	39
6.	ゲート管理	40
■6.1	ゲート情報の新規登録.....	40
■6.2	ゲート情報の照会.....	41
■6.3	ゲート情報の編集.....	42
	更新.....	42
	削除.....	42
■6.4	ゲート情報の詳細設定を編集.....	42
	SD-Gate V の接続.....	43
	SD-Gate V の切断.....	43
	開錠の設定.....	43
	センサー設定.....	43
	通行許可ユーザの追加.....	44
	通行許可ユーザの削除.....	45
■6.5	アンチパスバックの設定.....	45
■6.6	接続エラーについて.....	46
	接続エラーメッセージ.....	46
	接続エラーログ.....	46
7.	ログ表示	47
■7.1	ログ表示.....	47
■7.2	ログのCSV出力.....	48
■7.3	ログの保存期間.....	49
■7.4	ログ収集について.....	49
■7.5	ログ表記について.....	50
8.	その他の設定	51
■8.1	ログの自動出力.....	51
■8.2	日次処理の設定.....	52
9.	一括処理	54
■9.1	ゲートに日時を設定.....	54
■9.2	ゲートにユーザを反映.....	55
■9.3	ユーザをインポート.....	56
■9.4	ユーザをエクスポート.....	58
■9.5	部署をインポート.....	59

■9.6 部署をエクスポート	60
■9.7 ゲートをインポート	61
■9.8 ゲートをエクスポート	63
10. バックアップとリカバリ	64
■10.1 データのバックアップ	64
■10.2 データのリカバリ	64
■10.3 データの再反映	65
11. よくある質問	66

1. はじめに

■1.1 はじめに

この度は、SDM-V をご利用いただきありがとうございます。SDM-V をご使用になる前に、本書を必ずお読みください。

SDM-V は SD-Gate V 管理用のアプリケーションです。SD-Gate V を接続したコンピュータでのみ正しくご使用いただけます。SD-Gate V の取扱にあたっては、SD-Gate V に付属の取扱説明書を必ずお読みください。

なお、SD-Gate V および弊社指定入力装置以外の指紋・カード認証装置を接続して SDM-V をご使用いただくことはできませんのでご了承ください。

■1.2 動作環境

SDM-V をご利用いただけるコンピュータの環境は次の通りです。

対応機種：	各社 DOS/V パソコン
	CPU: Pentium4 2GHz 以上
	メモリ: 512Mb 以上
	ハードディスクの空き: 1Gb 以上
	ディスプレイ: SVGA カラー600x800 以上
	CD-ROM ドライブ搭載
対応 OS	Windows XP/ 2000/Vista/2003 Server R2 (すべて 32bit)
	<u>※本書では Windows XP professional を例に説明いたします。ご了承ください。</u>

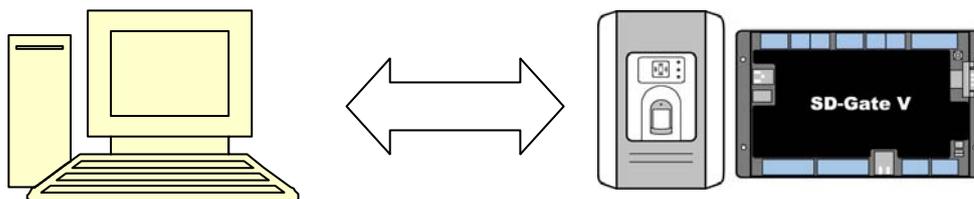
■1.3 SDM-V のしくみ

SDM-V はユーザ情報、ゲート情報、ログ情報を保存するデータベースを PC 上に持っています。SD-Gate V の内蔵メモリにこれらの情報を配信したり、あるいは SD-Gate V のメモリに保存された情報を PC のデータベースにコピーすることで、SD-Gate V の管理を行います。

＜ゲート情報＞

SD-Gate V に割り当てた IP アドレスや、指紋認証ユニットのクライアント ID などの情報を SDM-V に登録します。この情報をもとに、SDM-V はネットワークに接続された SD-Gate V 指紋認証ユニットを一台ずつ識別して、通信を行います。

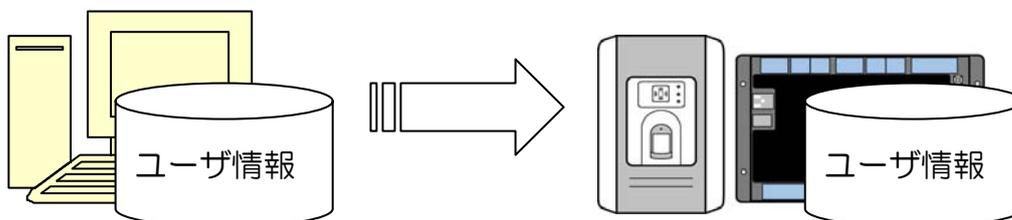
くわしい操作方法については「6. ゲート管理」をごらんください。



＜ユーザ情報＞

SDM-V で指紋や IC カードの情報を登録すると、まず PC 上のデータベースに情報が登録されます。つづいて【ゲートに反映】という機能を実行することにより、これらの情報はネットワーク回線を通じて SD-Gate V の内蔵メモリにコピーされ、SD-Gate V で指紋・IC カード認証が行えるようになります。

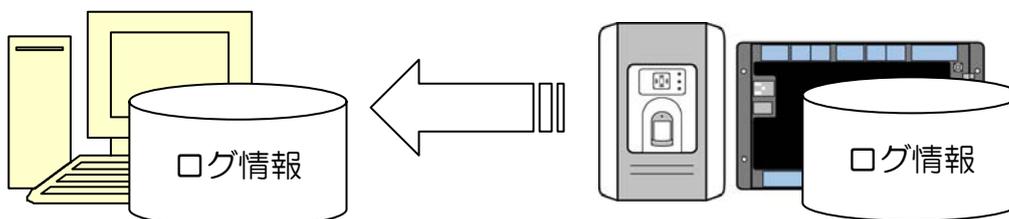
くわしい操作方法については「5. ユーザ管理」をごらんください。



＜ログ情報＞

SD-Gate V で指紋・IC カード認証を行ったり、エラーが発生したりしたときは、ログ情報が作成されて SD-Gate V の内蔵メモリに保管されます。SDM-V は SD-Gate V のメモリをチェックして、ログを見つけると PC 上のデータベースにログ情報をコピーします。

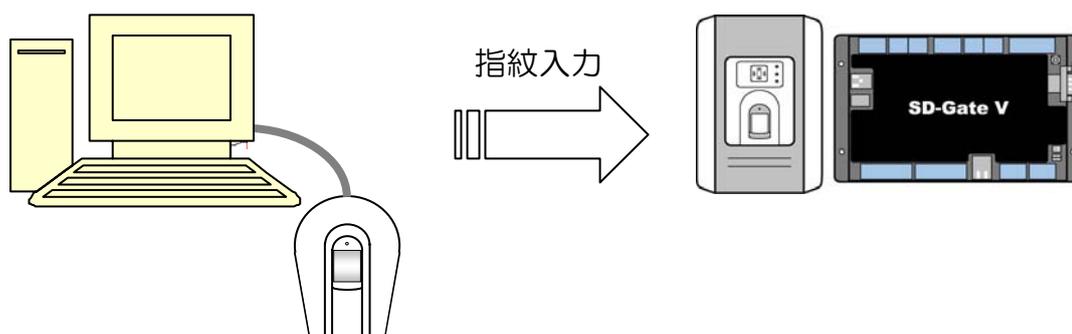
PC 上にコピーされたログ情報は、90 日以上経過すると自動的に削除されます。長期間の保存が必要な場合は、CSV ファイル出力をおすすめします。SD-Gate V の内蔵メモリでは約 100,000 件のログが保存され、それを超えると古い順に上書きされます。これらのログについての詳細は「7. ログ表示」をごらんください。



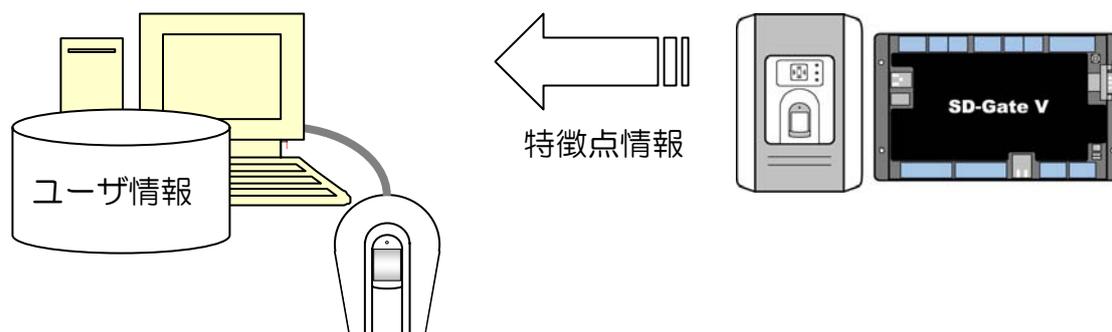
＜ 指紋の登録・照合 ＞

SDM-V は、PC に接続した指紋スキャナで指紋を読み取ると、その情報を SD-Gate V に転送し SD-Gate V に搭載された指紋認証エンジンで特徴点の抽出や暗号化などの処理を行って、特徴点情報を PC 側で受け取ります。そのため、SDM-V で指紋の登録や照合を行うには、少なくとも1台の SD-Gate V が接続されている必要があります。

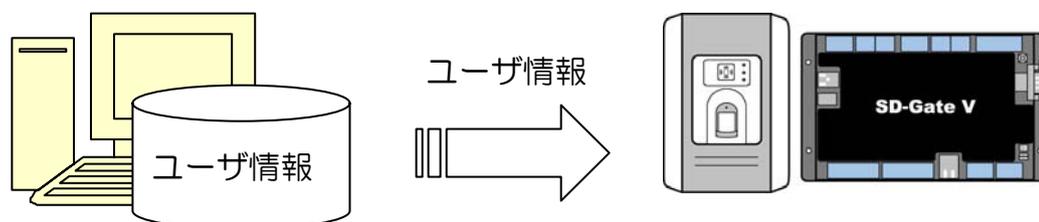
- ① PC に接続した指紋スキャナで指紋を入力すると、入力情報が SD-Gate V に転送されます。



- ② 入力情報は SD-Gate V で特徴点抽出や暗号化の処理が行われ、PC に戻って SDM-V のデータベースに登録されます。



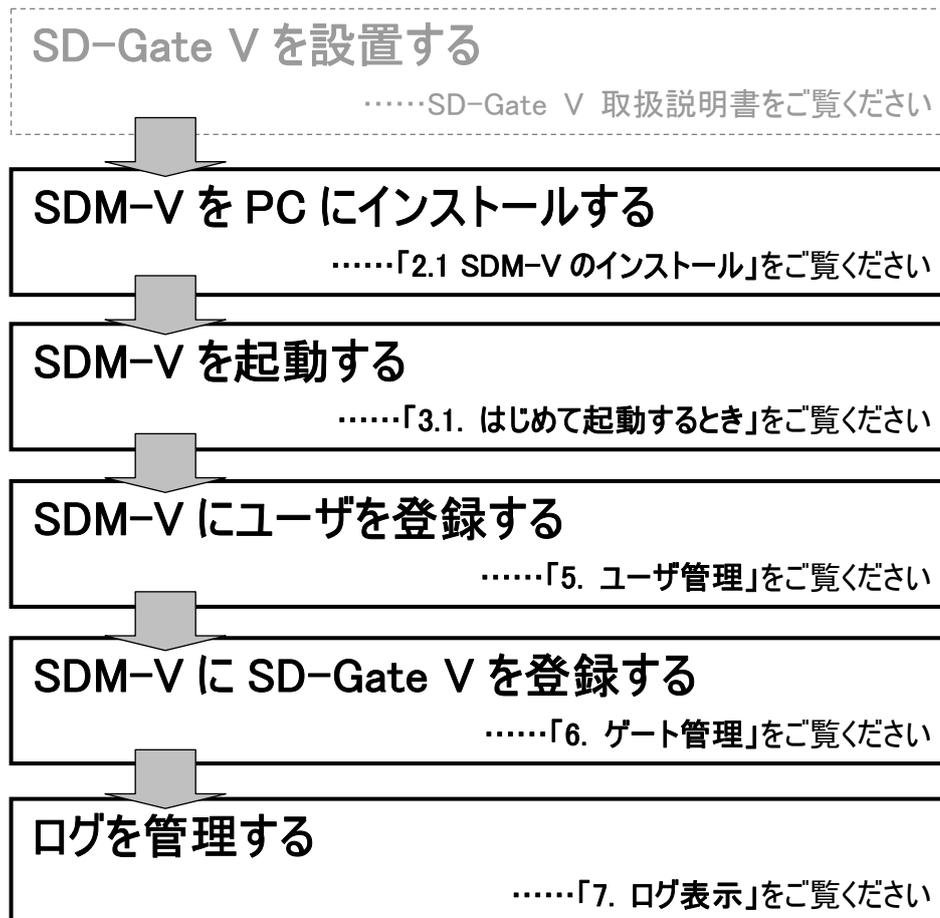
- ③ ユーザの利用するゲートの設定などを行うと、この指紋情報を含むユーザ情報が SD-Gate V に配信され、それぞれの SD-Gate V で指紋認証ができるようになります。



■1.4 基本的な使用手順

まず SDM-V をインストールします。「2.1 SDM-V のインストール」を行ってください。
指紋を利用する場合は「2.2 指紋スキャナのドライバのインストール」を、IC カードを利用する場合は「2.3 IC カードリーダーのドライバのインストール」を行ってください。

これらのインストールが完了したら、「3.1 はじめて起動するとき」に従って SDM-V を起動し、ユーザゲートの登録を行ってください。



SDM-V には次のような機能があります。各機能についての詳細は、操作ガイドの各章をごらんください。

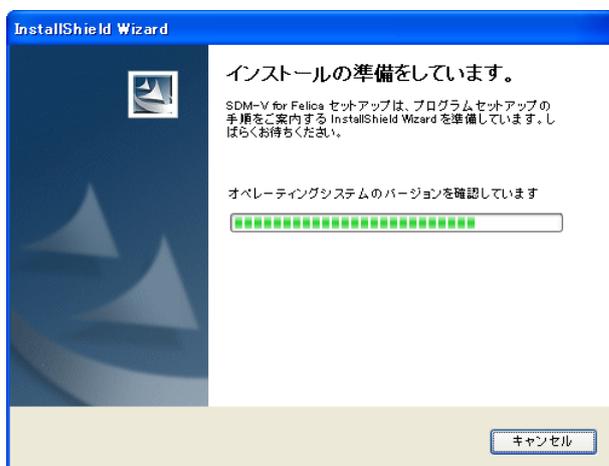
メニュー		操作ガイド
部署管理	部署情報の登録・更新・削除を行います。	4. 部署管理
ユーザ管理	IC カードや指紋などのユーザ情報の登録・更新・削除を行います。	5. ユーザ管理
ゲート管理	SD-Gate V の登録・更新・削除を行います。	6. ゲート管理
ログ表示	認証ログ・操作ログ・エラーログの表示や CSV 出力を行います。	7. ログ表示
設定		
ログの自動出力	ログを自動で CSV ファイルに出力します。	8.1 ログの自動出力
日次処理の設定	時刻合わせ、データベースの最適化、ユーザの再登録、古いログの削除等の設定を行います。	8.2 日次処理の設定
一括処理		
ゲートに日時を設定	PC の現在の日時を SD-Gate V に設定します。	9.1 ゲートに日次を設定
ゲートにユーザを反映	SD-Gate V に反映されていないユーザ情報を、一括して反映します。	9.2. ゲートにユーザを反映
ユーザをインポート	CSV ファイルから、ユーザ情報をインポートします。	9.3 ユーザをインポート
ユーザをエクスポート	CSV ファイルへ、ユーザ情報をエクスポートします。	9.4 ユーザをエクスポート
部署をインポート	CSV ファイルから、部署情報をインポートします。	9.5 部署をインポート
部署をエクスポート	CSV ファイルへ、部署情報をエクスポートします。	9.6 部署をエクスポート
ゲートをインポート	CSV ファイルから、ゲート情報をインポートします。	9.7 ゲートをインポート
ゲートをエクスポート	CSV ファイルへ、ゲート情報をエクスポートします。	9.8 ゲートをエクスポート

2. インストール / アンインストール

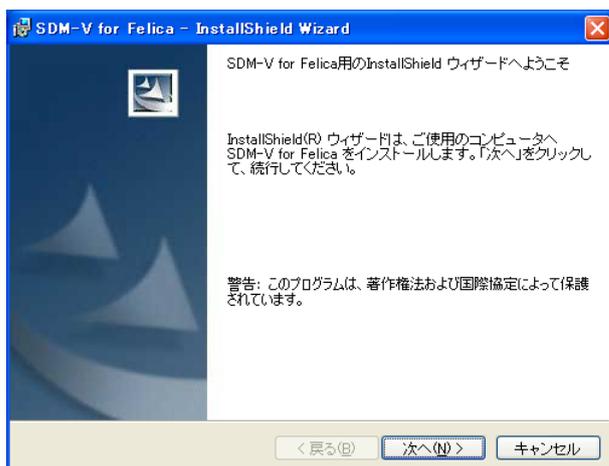
■2.1 SDM-V のインストール

お使いの PC に SDM-V for FeliCa または SDM-V for Mifare をはじめてインストールするときは、次の手順でインストールを行います。すでに for FeliCa または for Mifare がインストールされている場合は、先にアンインストールを行ってください。PC の故障などで再インストールが必要な場合は「10. バックアップとリカバリ」をごらんください。

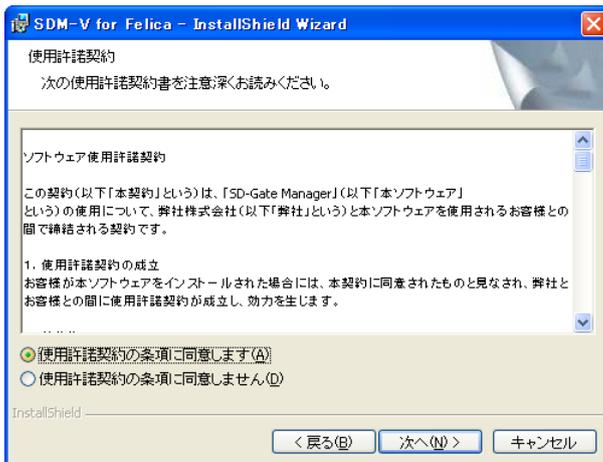
1. SDM-V インストール CD を CD-ROM ドライブに挿入すると、自動的に SDM-V インストール画面が表示され、インストールプログラムが始まります。（※自動再生しない場合には CD の中にある setup.exe をダブルクリックして下さい。）



2. SDM-V のセットアップ画面が表示されたら、【次へ】をクリックします。



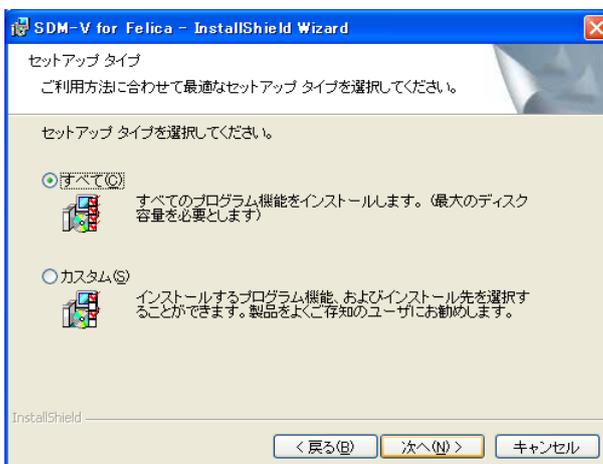
3. 使用許諾契約書をお読み下さい。同意する場合は「使用許諾契約の条項に同意します」を選択し、【次へ】をクリックします。



4. ユーザ情報を入力し、【次へ】をクリックします。



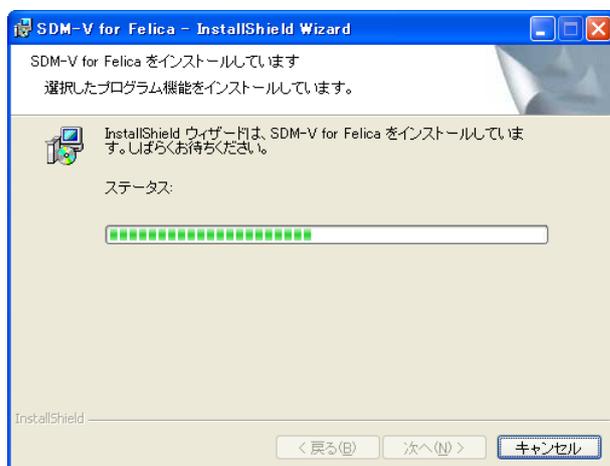
5. セットアップタイプを選択では、【すべて】を選択し、【次へ】をクリックします。(※インストール先は、C:\Program Files\SecureDesign\SDMV_F (または SDMV_M) の下です。別の場所にインストールしたい場合は、【カスタム】を選択し、場所を指定します。)



6. 【インストール】をクリックします。



7. プログラムのインストールが始まります。



8. 次の画面が表示されたら、【完了】をクリックします。

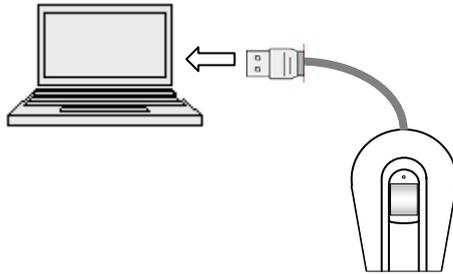


9. SDM-V のインストールが完了しました。

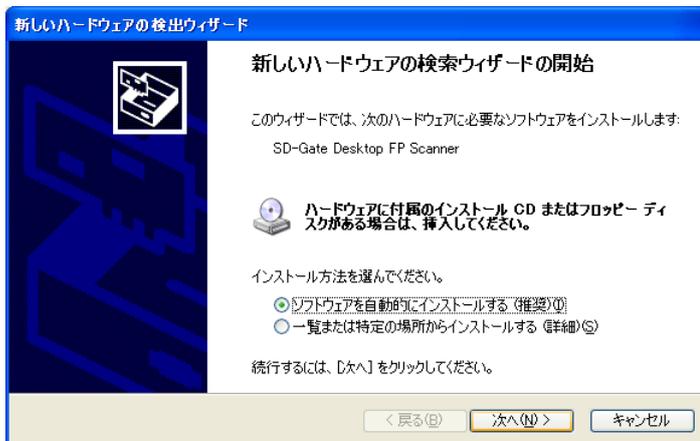
■2.2 指紋スキャナのドライバのインストール

SDM-V でユーザの指紋登録を行うには、付属の指紋スキャナのドライバをインストールする必要があります。

1. PC を起動し、指紋スキャナをパソコンのUSB コネクタに接続します。



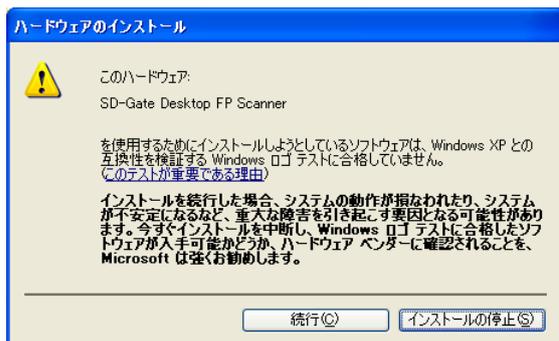
2. 指紋スキャナのドライバが自動的にインストールされます。自動的にインストールされず、「新しいハードウェアの検出ウィザード」が起動した場合は、次の3. からの手順でインストールします。
3. 「ソフトウェア検索のため、Windows Update に接続しますか？」と表示された場合、【いいえ、今回は接続しません】を選択し、【次へ】をクリックします。（この画面は表示されないことがあります。4. へお進みください。）
4. 【ソフトウェアを自動的にインストールする（推奨）】を選択し、【次へ】をクリックします。



5. 「SD-Gate Desktop FP Scanner」を選択し、【次へ】をクリックします。



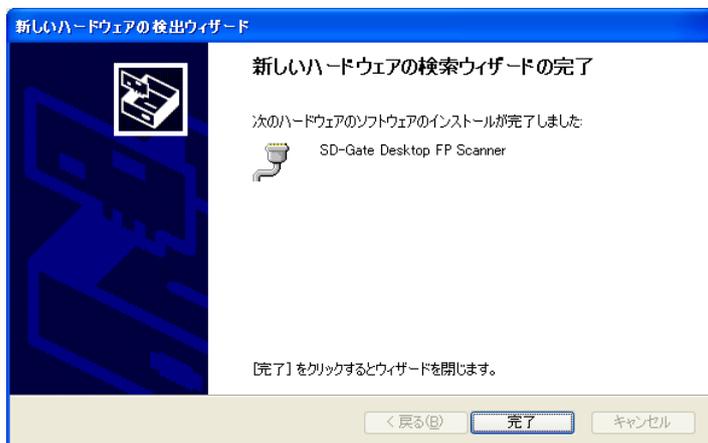
6. 【続行】をクリックします。



7. インストールが開始されます。



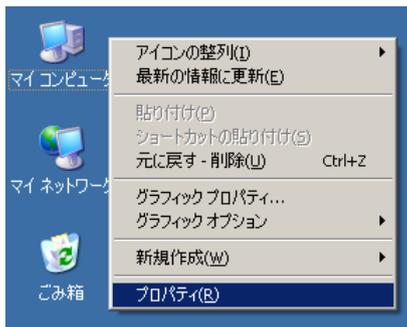
8. 【完了】をクリックします。



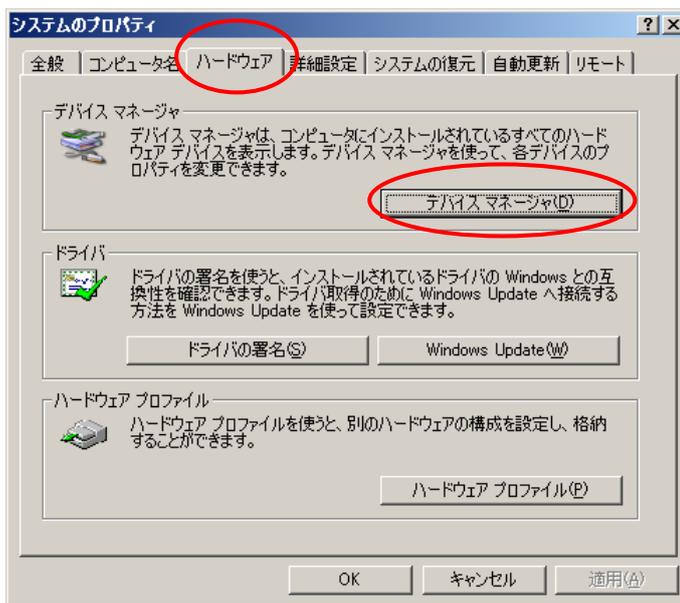
9. 指紋スキャナに割り当てられる COM ポート番号は 1~9 でなければなりません。次の「COM ポート番号の確認・変更」を行って、指紋スキャナに COM1~9 を割り当ててください。

< COM ポート番号の確認・変更 >

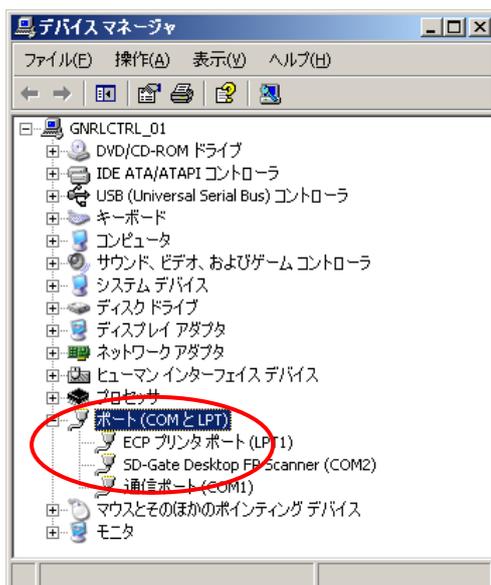
1. デスクトップの【マイコンピュータ】アイコンを右クリックし、【プロパティ】を選択します。



2. 【ハードウェア】タブをひらき、【デバイスマネージャ】ボタンを押します。



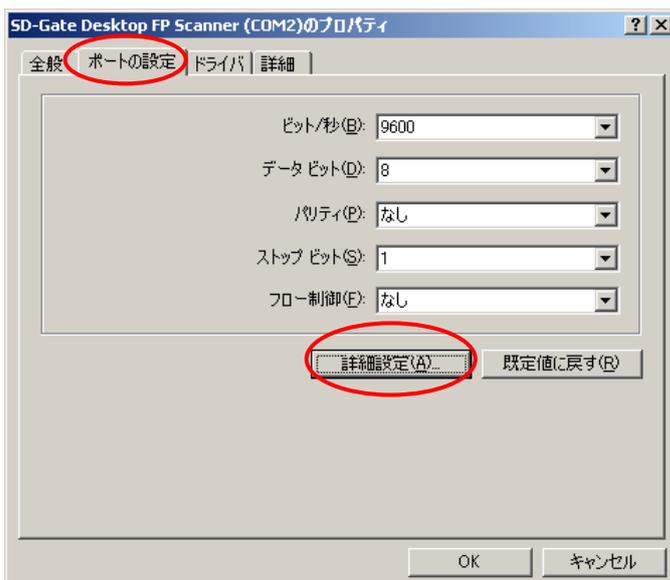
3. 【ポート (COM と LPT)】をダブルクリックし、「SD-Gate Desktop FP Scanner」の右に表示されている番号を確認します。もしも「COM9」よりも大きい COM ポート番号が割り当てられている場合は、次のステップからの変更手続きを行ってください。



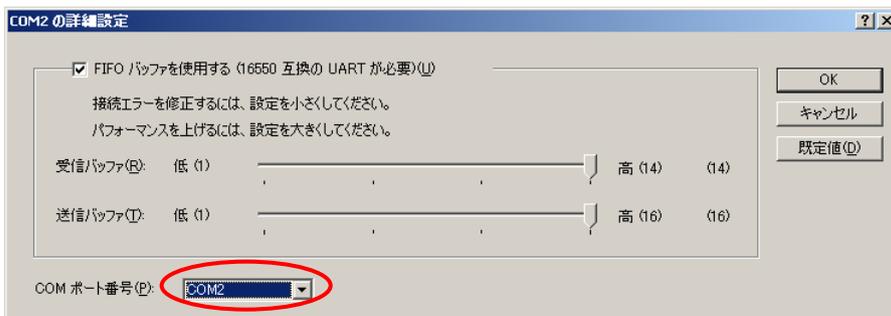
4. 「SD-Gate Desktop FP Scanner」を右クリックし、【プロパティ】を選択します。



5. 【ポートの設定】タブをひらき、【詳細設定】ボタンを押します。



6. 【COMポート番号】のドロップダウンリストから、COM1～9の範囲内のポートを選択し、【OK】ボタンを押してください。



- 注意 -

SDM-V 起動中は、指紋スキャナを USB ポートからはずさないでください。はずしたのち再度 USB ポートに差し込むとエラーとなります。その場合は、いったん SDM-V を終了して USB ポートの指紋スキャナを抜き、もういちど差し込みなおしてから SDM-V を再度起動してください。

■2.3 ICカードリーダーのドライバのインストール

＜FeliCa カードをご利用の場合＞

FeliCa カードリーダー「PaSoRi」をご利用になれます。PC にドライバをインストールしてください。インストール方法および使用方法については、「PaSoRi」の取扱説明書に従ってください。

※ Windows 2003 Server の場合

「PaSoRi」の取扱説明書の方法ではドライバがインストールできない場合があります。その場合は次の方法でドライバをインストールしてください。

1. PC の USB ポートに PaSoRi を接続します。
2. 【新しいハードウェアの検出ウィザード】が起動したら、【リストまたは特定の場所からインストールする】を選択し、【次へ】をクリックします。
3. 【次の場所を含める】にチェックを入れ、SDM-V インストール CD 中の「FeliCa_USB_Driver」＞「2k」フォルダを指定し、【次へ】をクリックします。
4. インストールが開始します。
5. 完了したら、【完了】をクリックしてウィザード画面を閉じます。

＜Mifare カードをご利用の場合＞

SDM-V 用 Mifare カードリーダー（別売）をご利用になれます。カードリーダーの AC アダプタを電源に差し込み、お使いの PC の COM ポートに接続してください。（ドライバのインストールは必要ありません。）

■2.4 2台以上のPCにSDM-Vをインストールする場合

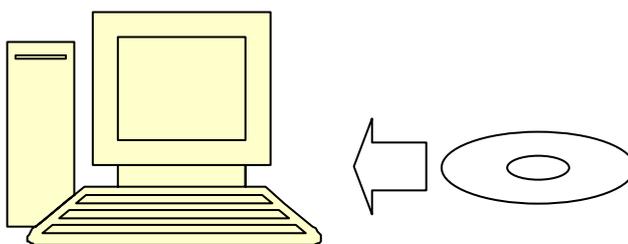
※ この方法は、PC・ネットワーク管理者等の上級者向けのご利用方法です。PC・ネットワークについての十分な知識が必要となります。ご注意ください。

通常のSD-Gate Vの管理は、1台のPCにインストールしたSDM-Vを使用して行います。2台以上のPCにSDM-Vをインストールすると、それぞれのPCにSDM-Vデータベースが作成されるため、データベースが分散し不整合が発生してしまいます。2台以上のPCにSDM-Vをインストールして使用する場合には、いずれか1台のPCをSDM-Vサーバとして共有化し、他のPCからはこのSDM-Vサーバのデータベースにアクセスすることで、2台以上のPCでSDM-Vを使用することができます。

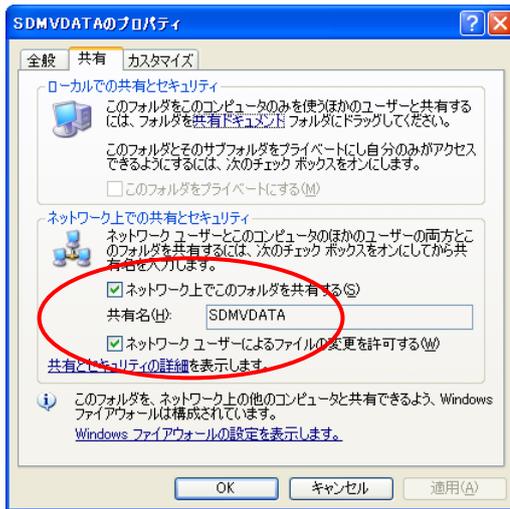
- 注意 -

- ・ 接続するPCが、お使いのネットワーク環境において、互いのPCにアクセスできる状態にあることを確認してください。接続が正しくない場合、または接続にパスワードが必要な場合等においては、SDM-Vが正しく動作しないことがあります。
- ・ 2台以上のPCで同時にSDM-Vを起動して使用することはできません。SDM-Vを起動する際は、他のPCでSDM-Vを使用していないことを必ず確認してください。
- ・ ログの自動出力機能（「8.2 ログの自動出力」を参照）は正常に動作しない場合があります。
- ・ これらの設定等については、必ずご利用になるお客様ご自身の責任においてご利用ください。

1. まずSDM-VサーバとなるPCにSDM-V・ドライバをインストールします。インストール方法については「2.1 SDM-Vのインストール」「2.2 指紋スキャナのドライバのインストール」「2.3 ICカードリーダーのドライバのインストール」をご参照ください。



2. インストールが完了すると、C:¥Program Files¥SDMVDATA¥ というフォルダが作成されます。このフォルダを右クリックし【プロパティ】を選択します。【共有】タブを開き、【ネットワーク上でこのフォルダを共有する】および【ネットワークユーザーによるファイル変更を許可する】にチェックを入れます。



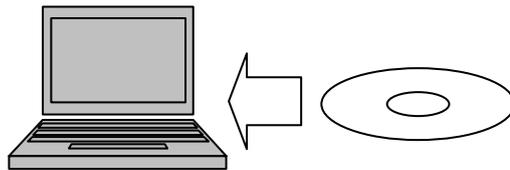
3. SDM-V のインストールフォルダ（デフォルトでは C:\Program Files\SecureDesign\SDMV_F（または SDMV_M））にある次の2つのファイルをコピーして、C:\Program Files\SDMVDATA\にペーストします。

Template.dat

GateLock.dat

SDM-V サーバの設定はこれで完了です。

4. つづいて、2 台目の PC にも同様に SDM-V・ドライバをインストールします。

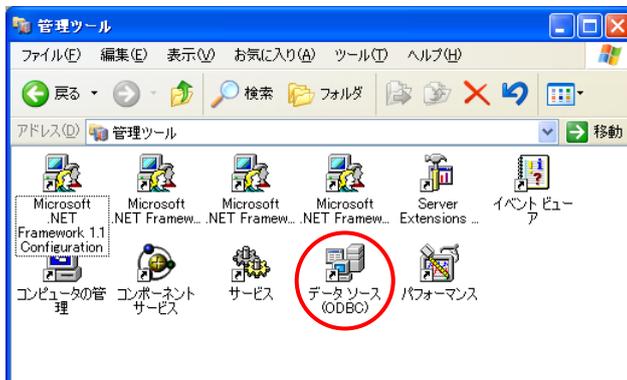


5. Windows のスタートメニューより、【設定】>【コントロールパネル】>【管理ツール】を選択します。

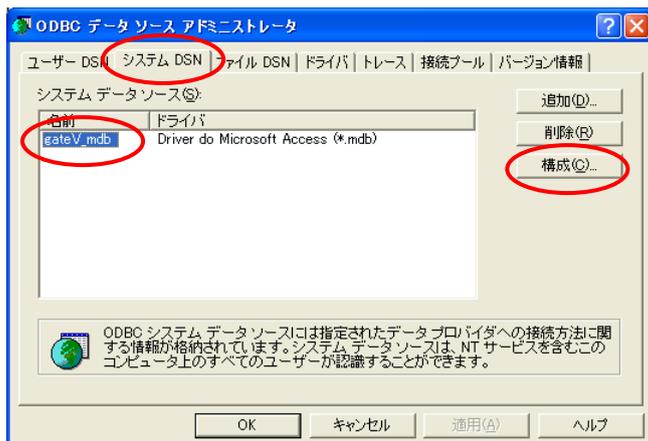


管理ツール

6. 【データソース (ODBC)】を選択します。



7. 【システム DSN】 タブを開き、「gateV_mdb」 をクリックし、【構成】 ボタンを押します。



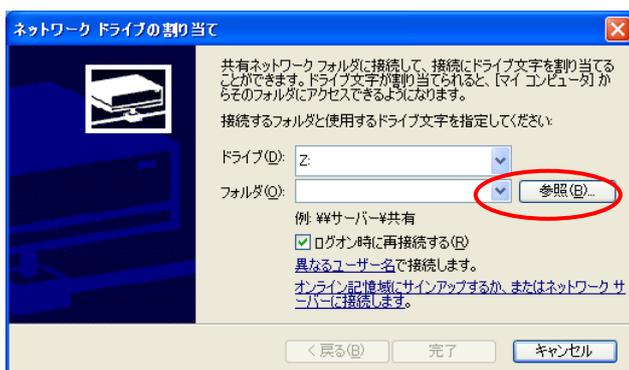
8. データベースのパスを変更するため、【選択】 ボタンを押します。



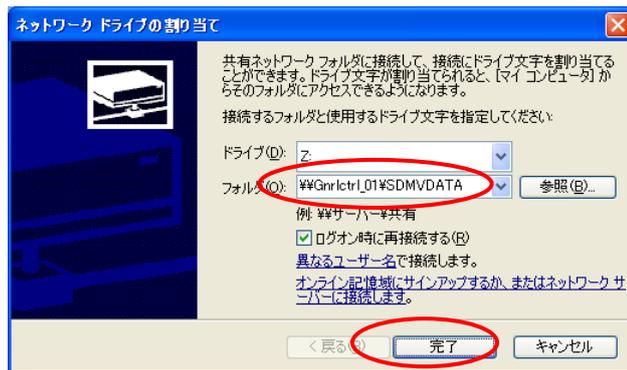
9. 【ネットワーク】 ボタンを押します。



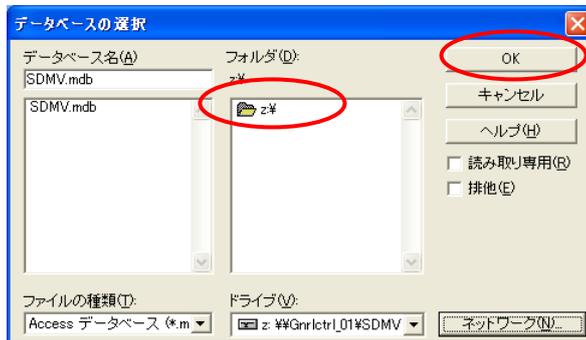
10. ネットワークドライブの割当を行います。【参照】 ボタンを押し、2. で設定した SDM-V サーバの共有フォルダを選択します



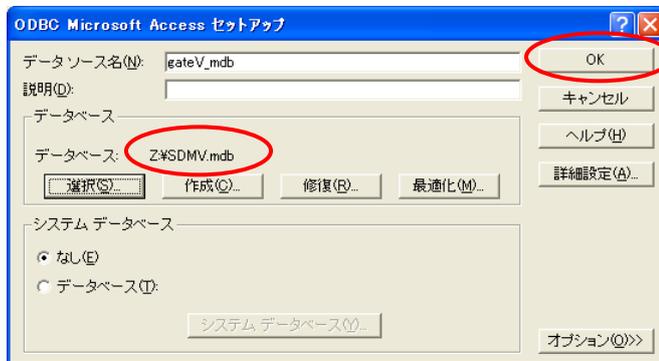
11. 【フォルダ】に SDM-V サーバの共有フォルダが指定されていることを確認し、【完了】ボタンを押します。



12. 割り当てたドライブが選択されていることを確認し、【OK】ボタンを押します。



13. データベースのパスが、割り当てたドライブになっていることを確認し、【OK】ボタンを押します。



14. SDM-V のインストールフォルダ（デフォルトのインストールフォルダは C:\Program Files\SecureDesign\SDMV_F（または SDMV_M））にある「SDMV.ini」をテキストエディタで開きます。

15. 次の記述を変更します。

F_GATELOCK=C:\Program Files\SecureDesign\SDMV_F\GateLock.dat

F_TEMPLATE=C:\Program Files\SecureDesign\SDMV_F\template.dat

この2つのファイルのパスを、3.で SDM-V サーバの共有フォルダにコピーしたファイルのパスに変更します。サーバの2つのファイルが、エクスプローラ等でこの PC から見えることを確認してください。

これで 2 台目の設定は完了です。3 台目以降は 4.~15.の手順を繰り返してください。

16. それぞれの PC で SDM-V が起動し動作することを確認してください（起動および動作につ

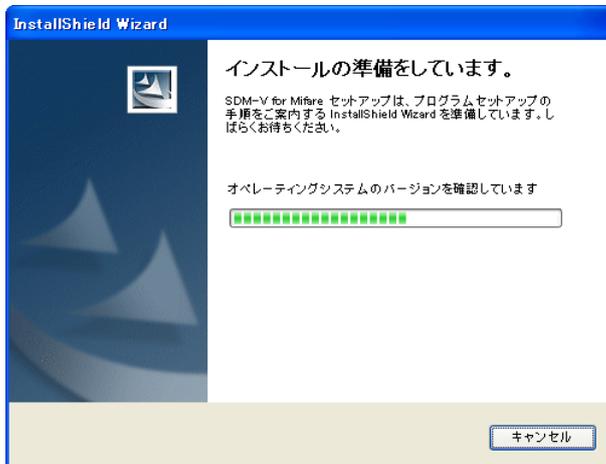
いては「3. SDM-V の起動」以降のページをご参照ください。同時に2台以上で起動することはできない点に、ご注意ください。

起動しないとき・起動時にエラーとなるときは、次のことをご確認ください

- ・ ODBC のデータベースのパスは正しく設定されていますか？お使いの PC のエクスプローラなどで、そのデータベースファイルの存在を確認できますか？
- ・ SDMV.ini ファイルに記述したファイルのパスは正しいですか？ お使いの PC のエクスプローラなどで、2つの dat ファイルの存在を確認できますか？
- ・ 設定したネットワークドライブの状態が「切断」になっていませんか？
- ・ 2台以上の PC で同時に SDM-V を起動していませんか？

■2.5 SDM-V のアンインストール

1. SDM-V インストール CD を CD-ROM ドライブに挿入すると、自動的に SDM-V アンインストール画面が表示され、アンインストールプログラムが始まります。（※自動再生しない場合には CD の中にある setup.exe をダブルクリックして下さい。）



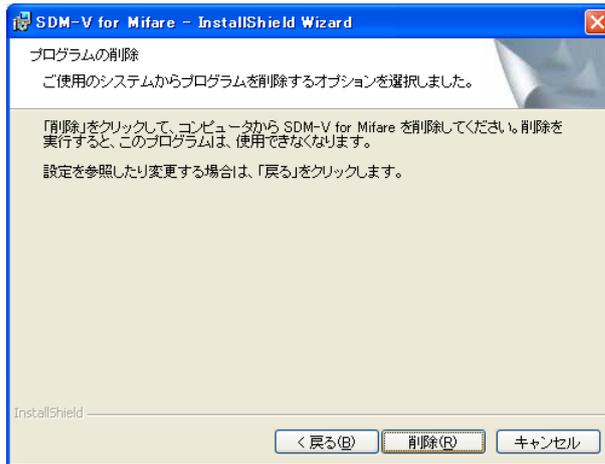
2. SDM-V のセットアップ画面が表示されたら、【次へ】をクリックします。



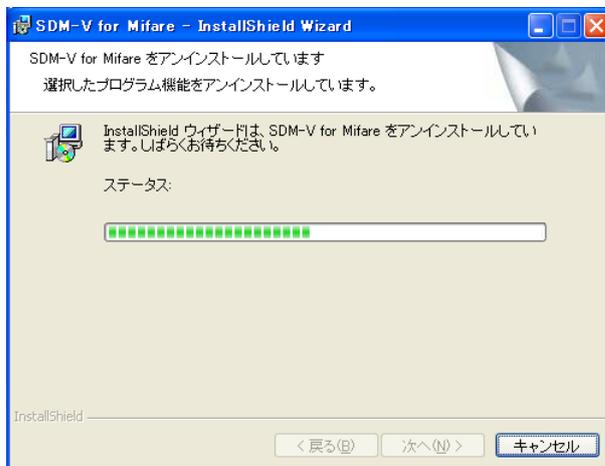
3. 【削除】を選択し、【次へ】をクリックします。



4. 【削除】をクリックします。



5. プログラムのアンインストールが始まります。



6. 次の画面が表示されたら、【完了】をクリックします。



7. SDM-V のアンインストールが完了しました。

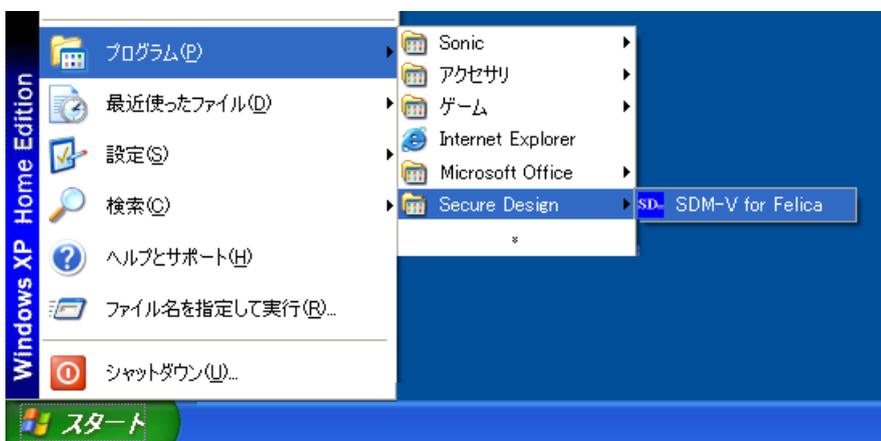
3. SDM-V の起動

SDM-V をはじめてご利用になる場合は、「3.1 はじめて起動するとき」をお読みください。

ユーザ登録（「5. ユーザ管理」参照）で管理者権限のユーザを登録した場合は起動時にログインが必要になります。「3.2 管理者ログイン」をお読みください。管理者権限のユーザを登録しなかった場合は「3.1 はじめて起動するとき」と同様に起動します。

■3.1 はじめて起動するとき

1. Windows のスタートメニューより、【プログラム】>【Secure Design】>【SDM-V for Felica】（または【SDM-V for Mifare】）をクリックして下さい。



2. SDM-V が起動します。



3. まずは次の流れでデータを登録してみましょう。基本的な操作は次の3ステップです。
 - ①ユーザを登録します。「5. ユーザ管理」をお読み下さい。
 - ②ゲートを登録します。「6. ゲート管理」をお読みください。
 - ③ログを確認します。「7. ログ表示」をお読みください。

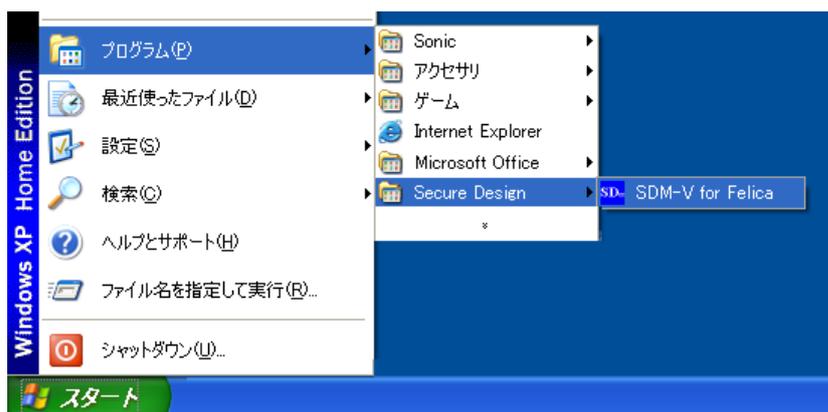
ユーザとゲートの登録の順序は入れ替わってもかまいません。③まで確認できたら、基本的な操作は完了です。それぞれの操作方法については目次をごらんになり、各機能の説明ページをご参照ください。

■3.2 管理者ログイン

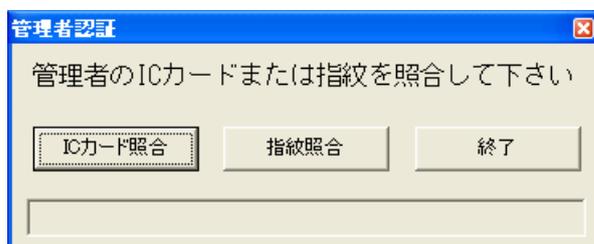
すでに SDM-V に管理者（「5.4 ユーザ情報の詳細設定を編集」内の「ゲート権限」をご参照ください）が登録されており、その認証方法が設定されている場合、SDM-V を起動するには管理者によるログイン認証が必要になります。管理者の IC カードまたは指紋のどちらかでログインします。

< IC カードでログイン >

1. IC カードリーダーを PC に接続します。
2. Windows のスタートメニューより、【プログラム】>【Secure Design】>【SDM-V for Felica】（または【SDM-V for Mifare】）をクリックして下さい。



3. 【管理者認証】画面が表示されます。【IC カード照合】ボタンを押して下さい。「5. ユーザ管理」で登録された管理者の IC カードとの照合を行います。



4. IC カードリーダーにカードをタッチします。
5. 認証に成功すると、SDM-V が起動します。接続が有効なゲート（「6.4 ゲート情報の詳細設定を編集」内の「SD-Gate V の接続」参照）が登録されている場合は、起動と同時に SD-Gate V の自動ログ収集が開始します。

＜ 指紋でログイン ＞

1. PC にデスクトップ指紋スキャナを接続します。
2. Windows のスタートメニューより、【プログラム】＞【Secure Design】＞【SDM-V for FeliCa】
（または【SDM-V for Mifare】）をクリックして下さい。
3. 【管理者認証】画面が表示されます。【指紋照合】ボタンを押して下さい。「5. ユーザ管理」で登録された管理者の指紋との照合を行います。

※このとき、接続が有効なゲートが1台も登録されていない場合はエラーとなりますのでご注意ください。



4. デスクトップ指紋スキャナに指を乗せます。認証に成功すると SDM-V が起動します。起動と同時に SD-Gate V の自動ログ収集が開始されます。

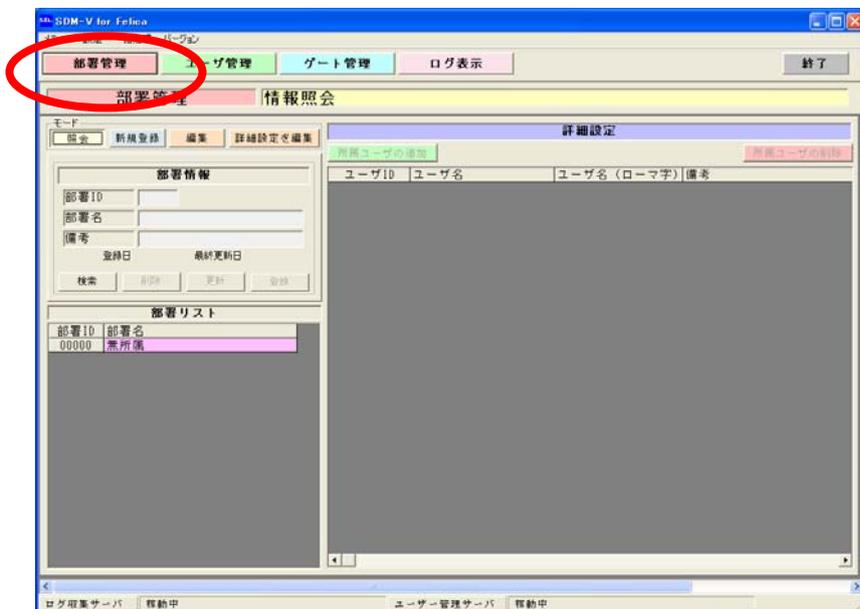


指紋認証でのログインについて

指紋ログインには、少なくとも1台のゲートの接続が有効である必要があります（「5.4 ユーザ情報の詳細設定を編集」内の「SD-Gate V の接続」をご参照ください）。SDM-V にゲートが1台も登録されていなかったり、登録されているすべてのゲートの接続が無効である場合は、指紋でのログインはできません。管理者を登録する場合は IC カードとの併用を強くおすすめします。

4. 部署管理

ユーザの所属する部署を登録して管理します。【部署管理】ボタンを押すか、左上の【メニュー】から【部署管理】を選択して下さい。（部署は必ずしも登録する必要はありません。登録しなかった場合、すべてのユーザが【無所属】として登録されます。）



■4.1 部署情報の新規登録

あらたに追加したい部署の情報の登録を行います。

1. 【新規登録】ボタンを押します。



2. 各項目を入力します。
部署ID…………… 必須項目です。数字5桁を入力します
部署名…………… 必須項目です。全半角12字まで入力できます。
備考…………… 全半角25字まで入力できます。
3. 【登録】ボタンを押します。
4. 画面左下の【部署リスト】に、登録した部署が追加されていれば、登録完了です。
なお、インポート機能を使用して、複数の部署を一括して登録することもできます。「9.5 部署

をインポート」をご参照ください。

■4.2 部署情報の照会

登録されている部署の情報の照会を行います。

1. 【照会】ボタンを押します。

部署ID	部署名
00000	無所属
00001	総務部

2. 画面左下の【部署リスト】上で、照会したい部署名をクリックします。

部署ID	部署名
00000	無所属
00001	総務部

3. クリックした部署に所属しているユーザのリストが、画面右の【詳細設定】に表示されます。

■4.3 部署情報の編集

登録されている部署の情報の更新・削除を行います。

更新

1. 【編集】ボタンを押します。

部署ID	部署名
00000	無所属
00001	総務部

2. 画面左下の【部署リスト】上で、更新したい部署名をクリックします。
3. 【部署情報】の内容を変更します。（※部署IDの変更はできません。）
4. 【更新】ボタンを押します。
5. 【部署リスト】上で、更新した部署名をクリックし、更新した内容に変更されていれば完了です。
なお、インポート機能を使用して、複数の部署を一括して更新することもできます。「9.5 部署をインポート」をご参照ください。

削除

1. 【編集】ボタンを押します。

部署管理 情報編集

モード
照会 新規登録 編集 詳細設定を編集

部署情報

部署ID 00001
部署名 総務部
備考
登録日 2007/05/28 最終更新日 2007/05/28

検索 削除 更新 登録

2. 【部署リスト】上で、削除したい部署名をクリックします。
3. 【削除】ボタンを押します。
4. 【部署リスト】から削除したい部署が削除されていれば完了です。

■4.4 部署情報の詳細設定を編集

部署に所属するユーザを追加・削除します。

所属ユーザの追加

※所属ユーザの追加を行うには、先にユーザの登録を行う必要があります。「5. ユーザ管理」でユーザ登録を行ってください。

1. 【詳細設定を編集】ボタンを押します。

部署管理 詳細設定

モード
照会 新規登録 編集 詳細設定を編集

部署情報

部署ID 00001
部署名 総務部
備考
登録日 2007/05/28 最終更新日 2007/05/28

検索 削除 更新 登録

2. 【部署リスト】上で、設定したい部署をクリックします。画面右側の【詳細設定】ウィンドウが書き込み可能になります。

3. 画面右の【詳細設定】ウィンドウの【所属ユーザの追加】ボタンを押します。

部署管理 詳細設定を編集

モード: 照会 新規登録 編集 詳細設定を編集

所属ユーザの追加 所属ユーザの削除

部署情報

部署ID: 00001
 部署名: 総務部
 備考:
 登録日: 2007/05/28 最終更新日: 2007/05/28

検索 削除 更新 登録

ユーザID	ユーザ名	フリガナ	備考
000000001	セキュア花子	secure hanak	備考
000000002	セキュア花子2	secure hanak	備考
000000003	セキュア花子3	secure hanak	

部署リスト

部署ID	部署名
00000	無所属
00001	総務部

4. 【ユーザ検索】画面が表示されるので、追加したいユーザ名をダブルクリックするか、クリックして【選択】ボタンを押して下さい。（※ユーザを検索する場合は、ユーザ名または備考を入力し、【検索】ボタンを押して下さい。）

ユーザ検索

検索

ユーザ名:
 備考:
 表示数: 20 検索

ユーザID	ユーザ名	部署
000000004	セキュア花子4	無所
000000005	セキュア花子5	無所
000000006	セキュア花子6	無所
000000007	セキュア花子7	無所
000000008	セキュア花子8	無所
000000009	セキュア花子9	無所
000000010	セキュア花子10	無所

選択 選択すると、ウィンドウを閉じる 閉じる

5. 追加したユーザがリストに表示されていれば完了です。

所属ユーザの削除

1. 【詳細設定を編集】ボタンを押します。

部署管理 詳細設定

モード: 照会 新規登録 編集 詳細設定を編集

部署情報

部署ID: 00001
 部署名: 総務部
 備考:
 登録日: 2007/05/28 最終更新日: 2007/05/28

検索 削除 更新 登録

2. 【部署リスト】上で、設定したい部署をクリックします。画面右側の【詳細設定】ウィンドウが書き込み可能になります。

3. 【詳細設定】の所属ユーザリストから削除したいユーザ名をクリックし、【所属ユーザの削除】ボタンを押します。

部署管理 詳細設定を編集

モード
照会 新規登録 編集 詳細設定を編集

所属ユーザの追加 所属ユーザの削除

ユーザID	ユーザ名	フリガナ	備考
0000000001	セキュア花子	secure hanak	
0000000002	セキュア花子2	secure hanak	備考
0000000003	セキュア花子3	secure hanak	

登録日 2007/05/28 最終更新日 2007/05/28

検索 削除 更新 登録

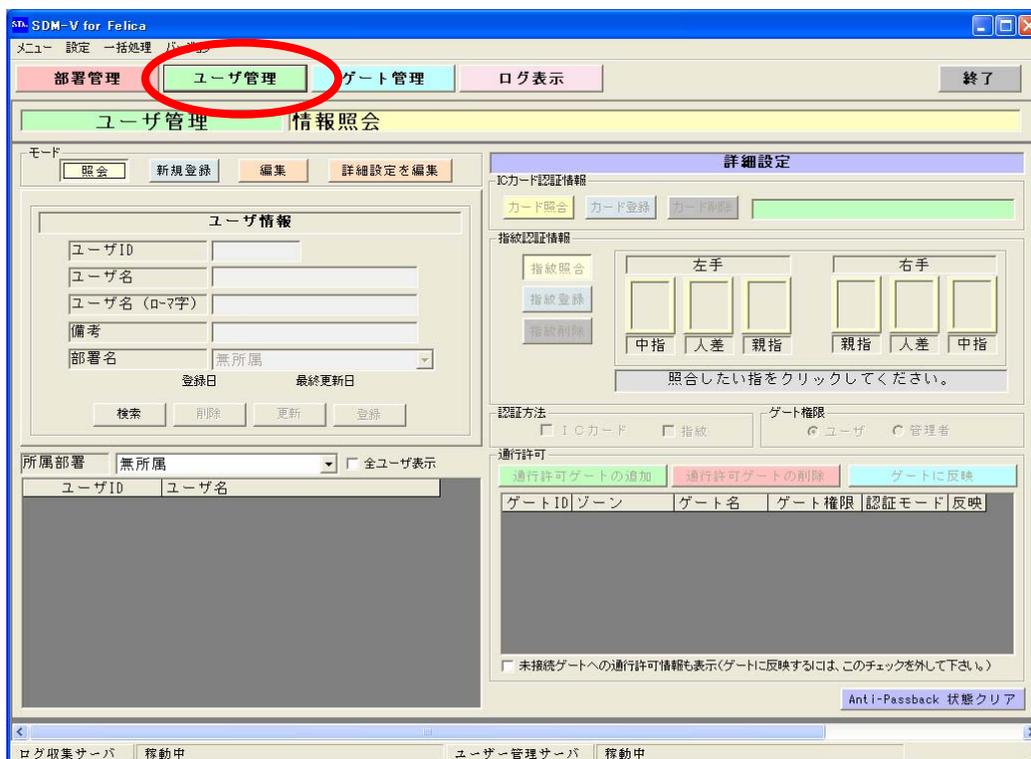
部署リスト

部署ID	部署名
00000	無所属
00001	総務部

4. 削除したいユーザがリストから削除されていれば完了です。

5. ユーザ管理

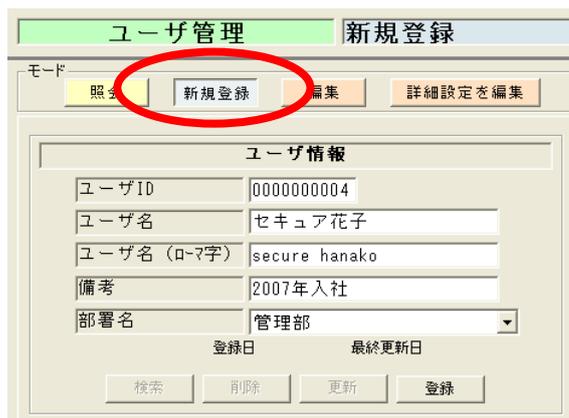
【ユーザ管理】ボタンを押すか、左上の【メニュー】から【ユーザ管理】を選択して下さい。



■5.1 ユーザ情報の新規登録

あらたに追加したいユーザの情報の登録を行います。

1. 【新規登録】ボタンを押します。



2. 各項目を入力します。

ユーザID …………… 必須項目です。数字 10 桁を入力します。例：0000000001

ユーザ名 …………… 必須項目です。全半角 25 字まで入力できます。

ユーザ名 (ローマ字) …… 必須項目です。英数字 50 字まで入力できます。

備考 …………… 全半角 25 字まで入力できます。

部署名 …………… ドロップダウンリストより部署を選択します。ドロップダウンリストに

表示される部署名は「4. 部署管理」で登録した部署および「無所属」です。

3. 【登録】ボタンを押します。
4. 画面左下のユーザリストで【所属部署】または【全ユーザ表示】を選択して表示されるユーザリストに、登録したユーザが追加されていれば、登録完了です。完了後は画面右の【詳細設定】ウィンドウの編集を行います。「5.4 詳細設定を編集」をお読みください。
なお、インポート機能を使用して、複数のユーザを一括して登録することもできます。「9.3 ユーザをインポート」をご参照ください。

■5.2 ユーザ情報の照会

登録されているユーザの情報の照会を行います。

1. 【照会】ボタンを押します。

The screenshot shows a web application interface for user management. At the top, there are two tabs: 'ユーザ管理' (User Management) and '情報照会' (Information Inquiry). Below the tabs are four buttons: '照会' (Inquiry), '新規登録' (New Registration), '編集' (Edit), and '詳細設定を編集' (Edit Detailed Settings). The '照会' button is circled in red. Below the buttons is a form titled 'ユーザ情報' (User Information) with the following fields:

ユーザID	0000000004
ユーザ名	セキュア花子4
ユーザ名(ローマ字)	secure hanako4
備考	
部署名	無所属

Below the form, there are buttons for '検索' (Search), '削除' (Delete), '更新' (Update), and '登録' (Register). At the bottom, there is a dropdown menu for '所属部署' (Department) set to '無所属' and a checkbox for '全ユーザ表示' (Show All Users). Below this is a table listing users:

ユーザID	ユーザ名
0000000004	セキュア花子4
0000000005	セキュア花子5
0000000006	セキュア花子6

2. 画面左下段の【所属部署】で、部署または【全ユーザ表示】を選択して表示されるユーザリストから、照会したいユーザ名をクリックします。
3. クリックしたユーザの設定内容が、画面右の【詳細設定】ウィンドウに表示されます。

■5.3 ユーザ情報の編集

登録されているユーザの情報の更新・削除を行います。

更新

1. 【編集】ボタンを押します。

ユーザ管理 情報編集

モード

照会 新規登録 **編集** 詳細設定を編集

ユーザ情報

ユーザID 0000000005

ユーザ名 セキュア花子5

ユーザ名 (ローマ字) secure hanako5

備考

部署名 無所属

登録日 2007/05/29 最終更新日 2007/05/29

検索 削除 更新 登録

所属部署 無所属 全ユーザ表示

ユーザID	ユーザ名
0000000004	セキュア花子4
0000000005	セキュア花子5
0000000006	セキュア花子6

- 画面左下の【所属部署】で、部署または【全ユーザ表示】を選択して表示されるユーザリストから、更新したいユーザ名をクリックします。
- 【ユーザ情報】の内容を変更します。（※ユーザIDの変更はできません。）
- 【更新】ボタンを押します。
- 【所属部署】または【全ユーザ表示】を選択して表示されるユーザリストから、更新したユーザ名をクリックし、更新した内容に変更されていれば完了です。

なお、インポート機能を使用して、複数のユーザを一括して更新することもできます。「9.3 ユーザをインポート」をご参照ください。

削除

- 【編集】ボタンを押します。

ユーザ管理 情報編集

モード

照会 新規登録 **編集** 詳細設定を編集

ユーザ情報

ユーザID 0000000005

ユーザ名 セキュア花子5

ユーザ名 (ローマ字) secure hanako5

備考

部署名 無所属

登録日 2007/05/29 最終更新日 2007/05/29

検索 削除 更新 登録

所属部署 無所属 全ユーザ表示

ユーザID	ユーザ名
0000000004	セキュア花子4
0000000005	セキュア花子5
0000000006	セキュア花子6

- 画面左下段の【所属部署】で、部署または【全ユーザ表示】を選択して表示されるユーザリストから、削除したいユーザ名をクリックします。
- 【削除】ボタンを押します。
- 【所属部署】または【全ユーザ表示】を選択して表示されるユーザリストから、削除したいユーザが削除されていれば完了です。

■5.4 ユーザ情報の詳細設定を編集

登録されているユーザについて、次の設定を行います。

- ・ ICカードの登録・照合・削除…………… 認証に使用するICカードを設定します
- ・ 指紋の登録・照合・削除…………… 認証に使用する指紋を設定します
- ・ 認証方法…………… 指紋・ICカードのいずれか、または両方を選択します
- ・ 権限…………… ユーザまたは管理者を選択します
- ・ 通行許可ゲート…………… どのSD-Gate Vを使用するかを設定します

これらを設定するには、まず次の操作を行います。

1. 【詳細設定を編集】ボタンを押します。

The screenshot shows the 'ユーザ管理' (User Management) window with the '詳細設定を編集' (Edit Detailed Settings) button highlighted with a red circle. The 'ユーザ情報' (User Information) section contains the following fields:

ユーザID	0000000001
ユーザ名	セキュア花子
ユーザ名 (ローマ字)	secure hanako
備考	
部署名	総務部

登録日 2007/05/28 最終更新日 2007/06/08

Buttons: 検索, 削除, 更新, 登録

所属部署: 総務部 全ユーザ表示

ユーザID	ユーザ名
0000000001	セキュア花子
0000000002	セキュア花子2
0000000003	セキュア花子3

2. 画面左下の【所属部署】で、部署または【全ユーザ表示】を選択して表示されるユーザリストから、設定したいユーザをクリックします。画面右の【詳細設定】ウィンドウが書き込み可能になります。詳細設定の各項目の設定については、このあとの説明に従ってください。

The screenshot shows the '詳細設定' (Detailed Settings) window for a user. It includes the following sections:

- ICカード認証情報:** Buttons for 'カード照合', 'カード登録', and 'カード削除'. A status bar shows '<<< ICカード登録済み >>>'.
- 指紋認証情報:** Buttons for '指紋照合', '指紋登録', and '指紋削除'. It shows a grid of finger images for the left hand (中指, 人差, 親指) and right hand (親指, 人差, 中指). A prompt says '照合したい指をクリックしてください。' (Click the finger you want to register).
- 認証方法:** Radio buttons for 'ICカード' (checked) and '指紋'.
- ゲート権限:** Radio buttons for 'ユーザ' (checked) and '管理者'.
- 通行許可:** Buttons for '通行許可ゲートの追加', '通行許可ゲートの削除', and 'ゲートに反映'.
- ゲートリスト:** A table with columns: ゲートID, ゾーン, ゲート名, ゲート権限, 認証モード, 反映.
- Footer:** A checkbox for '未接続ゲートへの通行許可情報も表示(ゲートに反映するのみ、このチェックを外して下さい。)'

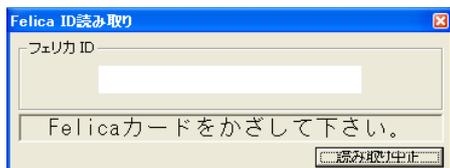
ICカードの登録

※通行許可ゲートが登録されているときは、ICカードの登録を行えません。このあとに記述されている「通行許可ゲートの削除」を先に行ってください。

1. PCにICカードリーダーを接続します。
2. 【カード登録】ボタンを押します。



3. ICカードリーダーでカードの読み取りを行います。



4. 「<<< ICカード登録済み >>>」と表示されたら登録完了です。
※複数のユーザに同じICカードを登録することはできません。

ICカードの照合

1. PCにICカードリーダーを接続します。
2. 【カード照合】ボタンを押します。
3. ICカードリーダーでカードの読み取りを行います。
4. 「照合されました。」と表示されたら、【OK】ボタンを押して終了して下さい。

ICカードの削除

※通行許可ゲートが登録されていると、ICカードの削除を行えません。このあとに記述されている「通行許可ゲートの削除」を先に行ってください。

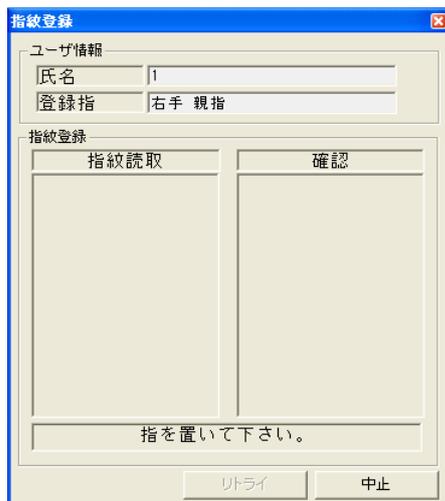
1. 【認証方法】で、【ICカード】にチェックが入っている場合は、チェックをはずします。
2. 【カード削除】ボタンを押します。
3. 「<<< ICカード登録済み >>>」の表示が消えたら削除完了です。

指紋の登録

1. 指紋の登録には、少なくとも1台のゲートの接続が有効である必要があります。「6.4 ゲート情報の詳細設定を編集」内の「SD-Gate Vの接続」をご参照になり、ゲートの接続を有効にしてください。
2. 【指紋登録】ボタンを押し、登録する指の枠の中をクリックします。



3. 指紋登録画面が表示され、『指を置いて下さい。』という文字および音声ガイダンスが出ます。次ページの<正しい指の置き方>を参考にして、指紋スキャナのセンサー面に登録する指を置いて下さい。



- 注意 -

SDM-V 起動中は、指紋スキャナを USB ポートからはずさないでください。はずしたのち再度 USB ポートに差し込むと、スキャナの認識エラーとなります。その場合は、いったん SDM-V を終了して USB ポートの指紋スキャナを抜き、もういちど差し込みなおしてから SDM-V を再度起動してください。

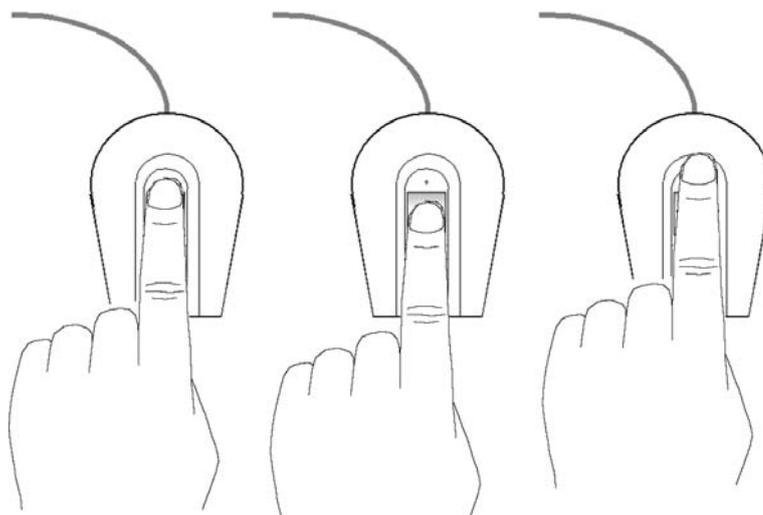
<正しい指の置き方>

指紋スキャナで指紋を読み取る際、指を正しくセンサーに置くことは非常に重要です。指を正しく置くことで、SD-Gate V の認証に必要な指紋の特徴を抽出することができます。次に示す指の正しい置き方の3つのポイントを参考にしてください。

ポイント1： 指をセンサー面に対して水平になるように置いてください。指が曲がっているとセンサーが指紋画像を正確に読み取れません。



ポイント2： センサー面の輪郭（くぼみ）に合わせて指を置いてください。



適切な指の位置

指の位置が低すぎ

指の位置が高すぎ



ポイント3： SD-Gate V 本体で認証する際は、登録の際にデスクトップ指紋スキャナに置いたときと同じ位置に、指を置いてください。

4. 『指を離して下さい。』というガイダンスが出たら、センサー面から指を離して下さい。
5. 指紋の読み取りに成功すると、再度『指を置いて下さい。』というガイダンスが出ますので、上記4. と5. の操作を繰り返してください。登録に3回、照合テストに1回、読み取りを行いません。指紋の読み取りに失敗した場合は【リトライ】ボタンを押し、再度読み取りを行ってください。
6. 『登録しました。』というガイダンスが表示され、登録した指の枠内に指紋アイコンが表示されたら登録完了です。登録に失敗した場合は【リトライ】ボタンを押し、再度4.以降の操作を行ってください。



指紋の照合

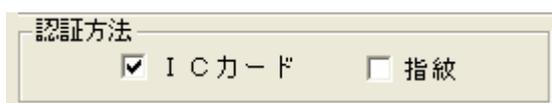
1. 指紋の照合には、少なくとも1台のゲートの接続が有効である必要があります。「6.4 ゲート情報の詳細設定を編集」内の「SD-Gate V の接続」をご参照になり、ゲートの接続を有効にしてください。
2. 【指紋照合】ボタンを押し、照合する指の指紋アイコンをクリックします。指紋照合画面が表示され、『指を置いて下さい。』というガイダンスが出ます。指紋スキャナのセンサー面に登録する指を置いて下さい。
3. 『指を離して下さい。』というガイダンスが出たら、センサー面から指を離して下さい。
4. 『本人を確認しました。』というガイダンスが出たら、指紋の照合成功です。『確認できません。』というガイダンスが出たら、指紋の照合失敗です。【リトライ】ボタンを押し、再度照合を行ってください。

指紋の削除

1. 【認証方法】の、【指紋】にチェックが入っている場合は、チェックをはずします。
2. 【指紋削除】ボタンを押します。
3. 削除する指の指紋アイコンをクリックします。
4. 指紋削除画面が表示されます。その画面内の【削除】ボタンを押して下さい。
5. 削除する指の指紋アイコンが消えたら削除完了です。

認証方法の選択

認証方法は、ICカードのみ、指紋のみ、ICカード+指紋の3通りです。



認証方法	ゲートの認証方法	SDM-V の設定
IC カードのみ	IC カードが照合成功すると開錠します	【IC カード】のみチェック ON
指紋のみ	指紋が照合成功すると開錠します	【指紋】のみチェック ON
IC カード+指紋	IC カードの照合成功後、指紋の照合を行い、成功すると開錠します。	【IC カード】【指紋】 両方にチェック ON

ゲート権限の選択

ゲート権限は【ユーザ】または【管理者】の2通りです。

ゲート権限

ユーザ 管理者

ゲート権限	設定
ユーザ権限	SD-Gate V にユーザとして登録されます。
管理者権限	SD-Gate V に管理者として登録されます。SDM-V 起動時のログイン権限を持ちます。

管理者の指紋登録について

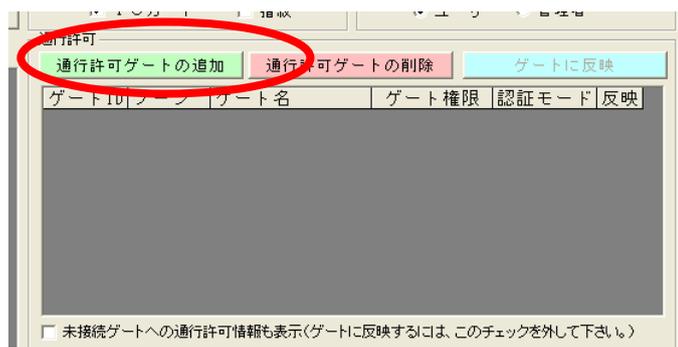
- ・ 管理者を1人でも登録すると、SDM-V の起動に管理者の IC カードか指紋でのログインが必要となります。(SDM-V ログインについては「3.2 管理者ログイン」をごらんください。)
- ・ 管理者のログインを指紋で行うには、起動時に少なくとも1台のゲートの接続が有効である必要があります(「6.ゲート管理」参照)。すべてのゲートの接続が無効だと指紋でのログインはできません。管理者の登録を行う際は、指紋だけでなく IC カードも登録されることを強くおすすめします。

通行許可ゲートの追加

このユーザが通行できる SD-Gate V をここで登録して、IC カードまたは指紋のデータを PC から SD-Gate 本体に送ります。

※通行許可ゲートの追加を行うには、先にゲートの登録を行う必要があります。「6. ゲート管理」をお読みください。この通行許可を設定する作業は「6. ゲート管理」でも行うことができます。

1. 【通行許可ゲートの追加】ボタンを押します。



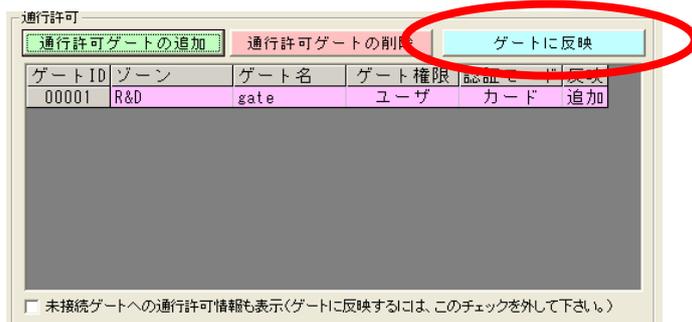
- ゲート選択補助画面が表示されるので、追加したいゲート名をダブルクリックするか、クリックして【選択】ボタンを押して下さい。（※ゲートを検索する場合は、ゲート名または備考を入力し、【検索】ボタンを押して下さい。）



- 追加するゲートが【通行許可】リストに表示されていること、またリストの【反映】カラムに『追加』と表示されていることを確認して下さい。（※未接続のゲートもリスト表示したい場合は、リストの下の【未接続ゲートへの通行許可情報も表示】のチェックをONにして下さい。）



- 【ゲートに反映】ボタンを押します。完了するまでに、1ゲートあたり数秒の時間がかかります。

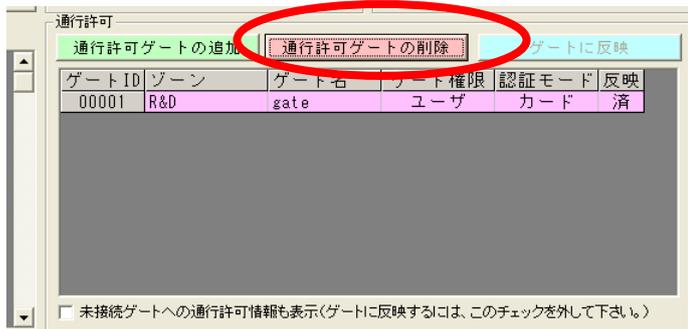


- 【反映】カラムの表示が『追加』から『済』に変更されたら、追加完了です。
（※【ゲートに反映】の実行は、複数のユーザをあとで一括して行うこともできます。（「9.2 ゲートにユーザを反映」をご参照ください。）

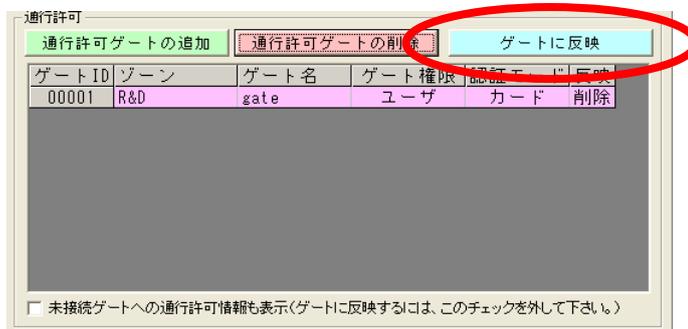
※エラーメッセージ：「ゲートへの反映中にエラーが発生しました。反映を中止します。」が表示されたときは、登録しようとしている指紋またはカードが、ゲート1台あたりの最大登録数を超えている可能性があります。指紋・カードの最大登録数については、取扱説明書をご参照ください。

通行許可ゲートの削除

1. 【通行許可】リストから削除したいゲート名をクリックします。
2. 【通行許可ゲートの削除】ボタンを押します。



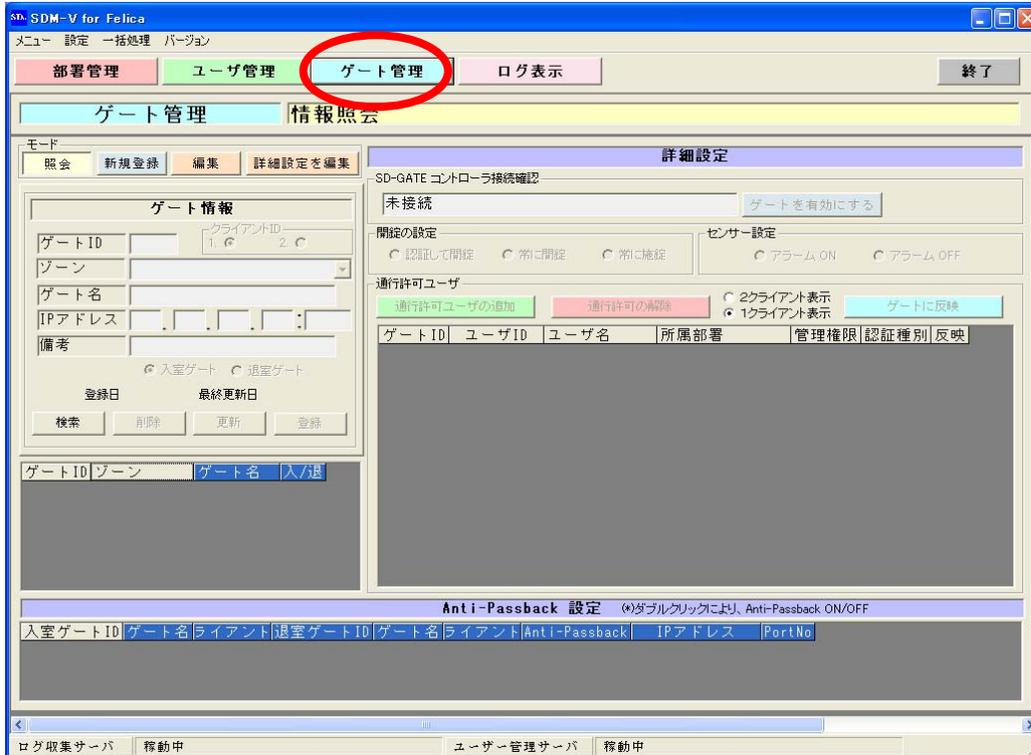
3. 削除するゲートの【反映】カラムの表示が『削除』に変更されていることを確認して下さい。
4. 【ゲートに反映】ボタンを押します。完了するまでに、1ゲートあたり数秒かかります。



5. 削除したいゲートが【通行許可】リストから削除されていれば、削除完了です。

6. ゲート管理

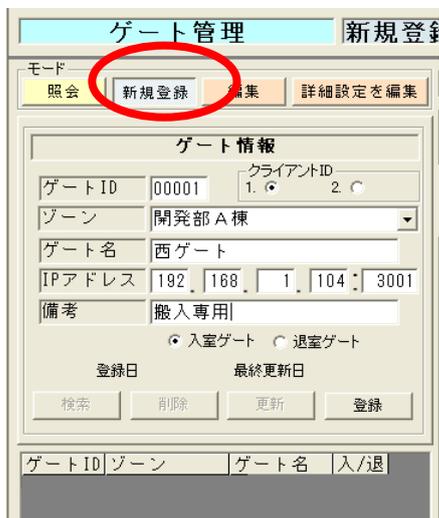
SDM-V と SD-Gate V を接続して通信をおこなうための情報を管理します。【ゲート管理】ボタンを押すか、左上の【メニュー】から【ゲート管理】を選択して下さい。



■6.1 ゲート情報の新規登録

SD-Gate V の情報の新規登録を行います。指紋認証ユニット1台を1ゲートとして登録しますので、SD-Gate V に2つの指紋認証ユニットを接続している場合は、2つのゲートを登録します。

1. 【新規登録】ボタンを押します。



2. 各項目を入力します。

ゲート ID …………… 必須項目です。数字 5 桁を入力します。

クライアント ID …………… 必須項目です。登録するゲート（指紋認証ユニット）が、コントローラユニットの「クライアント 1」に接続している場合は 1 を、「クライアント 2」に接続している場合は 2 を選択します。

ゾーン …………… 必須項目です。全半角 12 字まで入力できます。設置場所などを入力します。

ゲート名 …………… 必須項目です。全半角 12 字まで入力できます。

IP アドレス …………… 必須項目です。取扱説明書の「管理ソフトウェア SDM-V の接続」で SD-Gate V に設定した IP アドレスを入力します。IP アドレスのあとの「:」につづいて、下のポート番号を入力します。

ポート番号 …………… 必須項目です。取扱説明書の「管理ソフトウェア SDM-V の接続」で SD-Gate V に設定したポート番号を入力します。

備考 …………… 全半角 25 字まで入力できます。

入室／退室 …………… SD-Gate V が入室用か、退室用かを指定します。

3. 【登録】ボタンを押します。

4. 画面左下のゲートリストに、登録した SD-Gate V が追加されれば、登録完了です。

なお、インポート機能を使用して、複数の SD-Gate V を一括して登録することもできます。「9.7 ゲートをインポート」をご参照ください。

■6.2 ゲート情報の照会

登録されている SD-Gate V の情報の照会を行います。

1. 【照会】ボタンを押します。

ゲート管理 詳細設定

モード

照会 新規登録 編集 詳細設定を編集

ゲート情報

ゲート ID 00001 クライアントID 1 2

ゾーン 開発部 A 棟

ゲート名 西ゲート

IPアドレス 192.168.1.104 : 3001

備考 搬入専用

入室ゲート 退室ゲート

登録日 2008/06/26 最終更新日 2008/06/26

検索 削除 更新 登録

ゲートID	ゾーン	ゲート名	入/退
00001	開発部 A 棟	西ゲート	入室

2. 画面左下のゲートリストから、照会したいゲート名をクリックします。

3. クリックしたゲートの設定状況が画面右の【詳細設定】ウィンドウに表示されます。

■6.3 ゲート情報の編集

登録されているSD-Gate V の情報の更新・削除を行います。

更新

1. 【編集】 ボタンを押します。

The screenshot shows a web-based management interface for SD-Gate V. At the top, there are two tabs: 'ゲート管理' (Gate Management) and '情報編集' (Information Edit). Below the tabs, there is a 'モード' (Mode) section with four buttons: '照会' (View), '新規登録' (New Registration), '編集' (Edit), and '詳細設定を編集' (Edit Detailed Settings). The '編集' button is circled in red. Below this is the 'ゲート情報' (Gate Information) form. It contains fields for 'ゲートID' (Gate ID) with value '00001', 'クライアントID' (Client ID) with values '1.' and '2.', 'ゾーン' (Zone) with a dropdown menu showing '開発部 A棟' (Development Dept. A Building), 'ゲート名' (Gate Name) with value '西ゲート' (West Gate), 'IPアドレス' (IP Address) with values '192', '168', '1', '104', and '3001', and '備考' (Remarks) with value '搬入専用' (Dedicated for loading). There are also radio buttons for '入室ゲート' (Room Entry Gate) and '退室ゲート' (Room Exit Gate), with '入室ゲート' selected. Below the form, there are buttons for '検索' (Search), '削除' (Delete), '更新' (Update), and '登録' (Register). At the bottom, there is a table showing the current gate information:

ゲートID	ゾーン	ゲート名	入/退
00001	開発部 A棟	西ゲート	入室

2. 画面左下のゲートリストから、更新したいゲート名をクリックします。
3. 【ゲート情報】 の内容を変更します。（※ゲート ID の変更はできません。）
4. 【更新】 ボタンを押します。
5. 画面左下のゲートリストで更新したゲート名をクリックして、表示内容が変更されていれば更新編集完了です。

削除

1. 【編集】 ボタンを押します。
2. 画面左下のゲートリストから、削除したいゲート名をクリックします。
3. 【削除】 ボタンを押します。
4. 画面左下のゲートリストから、削除したいゲートが削除されていれば完了です。

■6.4 ゲート情報の詳細設定を編集

登録されているSD-Gate V への接続または切断、開錠の設定、センサー設定、通行許可ユーザの追加と解除を行います。

1. 【詳細設定を編集】 ボタンを押します。
2. 画面左下のゲートリストから、設定したいゲートをクリックします。画面右側の【詳細設定】ウィンドウが書き込み可能になります。

SD-Gate V の接続

1. 【ゲートを有効にする】ボタンを押します。（※既に接続されている場合、このボタンは【ゲートを無効にする】と表示されます。）



※ゲートの接続はSD-Gate V 1セットで行います。1台のSD-Gate Vに2台のゲート（指紋認証ユニット）を接続している場合は、1台のゲートの接続を有効にすると、もう1台のゲートの接続も有効になります。

2. 「ゲートへの接続に成功しました。このゲートは利用可能です。」と表示されたら、【OK】ボタンを押します。
3. 「接続中」と表示されれば、接続完了です。

SD-Gate V の切断

1. 【ゲートを無効にする】ボタンを押します。（※既に切断されている場合、このボタンは【ゲートを有効にする】と表示されます。）

※ゲートの接続はSD-Gate V 1セットで行います。1台のSD-Gate Vに2台のゲート（指紋認証ユニット）を接続している場合は、1台のゲートの接続を無効にすると、もう1台のゲートの接続も無効になります。

2. 「未接続」と表示されれば、切断完了です。

開錠の設定

開錠の設定は、認証して開錠、常に開錠、常に施錠の3通りです。



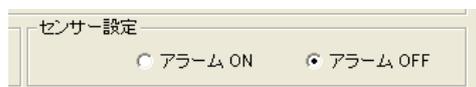
※設定したいゲートが未接続の場合は設定できません。

※入退室セットで1つのドアに設置している場合、両方のゲートの設定を同じにする必要があります。

開錠方法	設定
認証して開錠	【認証して開錠】のラジオボタンをクリックして下さい。
常に開錠	【常に開錠】のラジオボタンをクリックして下さい。
常に施錠	【常に施錠】のラジオボタンをクリックして下さい。

センサー設定

ドアセンサーとアラームが設置されているドアで、ドアがきちんと閉められていない半ドア状態の場合にアラーム音を出す／出さないを設定します。



※設定したいゲートが未接続の場合は、設定できません。

アラーム音	設定
出す	【アラームON】のラジオボタンをクリックして下さい。
出さない	【アラームOFF】のラジオボタンをクリックして下さい。

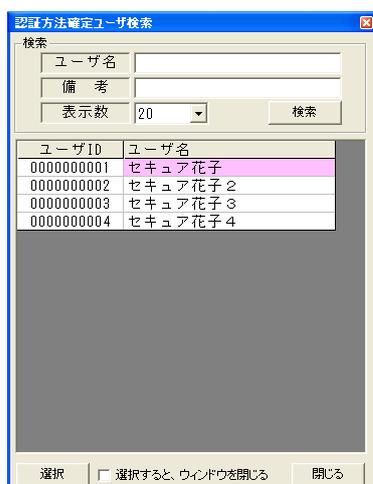
通行許可ユーザの追加

※通行許可ユーザの追加を行うには、先にユーザの登録を行う必要があります。「5. ユーザ管理」をお読みください。この通行許可を設定する作業は「5. ユーザ管理」でも行うことができます。

1. 【通行許可ユーザの追加】ボタンを押します。



2. ユーザ検索画面が表示されます。追加したいユーザ名をダブルクリックするか、クリックして【選択】ボタンを押して下さい。（※ユーザを検索する場合は、ユーザ名または備考を入力し、【検索】ボタンを押して下さい。なお、ユーザ管理で【認証方法】が選択されていないユーザは、このユーザ検索画面には表示されません。）



3. 追加したユーザが【通行許可ユーザ】リストに表示されていること、また、【反映】カラムに『追加』と表示されていることを確認して下さい。
4. 1台のSD-Gate Vに2台の指紋認証ユニットを接続している場合は、「1クライアント表示」「2クライアント表示」を切り替えながら、どのゲートにどのユーザが登録されているかを確認します。



「1クライアント表示」では、編集中のゲート（指紋認証ユニット）の通行許可ユーザのみが表示されます。「2クライアント表示」では、同じSD-Gate Vのもう1台のゲート（指紋認証ユニット）の通行許可ユーザも併せて表示します。

特にアンチパスバック機能（「6.5 アンチパスバックの設定」参照）を利用する際には、入室したユーザが退室できないことがないように、2クライアント表示を行って確認されることをおすすめします。

- 【ゲートに反映】ボタンを押します。
 ※反映処理はSD-Gate V 1セットで行います。1台のSD-Gate Vに2台のゲート（指紋認証ユニット）を接続している場合、反映処理はこの2ゲート分が同時に行われるため、反映処理中は自動的に「2クライアント表示」となります。
- 【反映】の表示が『追加』から『済』に変更されたら、追加完了です。完了するまでに、1ユーザあたり数秒～十数秒の時間がかかります。
 ※【ゲートに反映】の実行はあとで一括して行うこともできます。（「9.2 ゲートにユーザを反映」をご参照ください）。
 ※エラーメッセージ「ゲートへの反映中にエラーが発生しました。反映を中止します。」が表示されたときは、登録しようとしている指紋またはカードが、ゲート1台あたりの最大登録数を超過している可能性があります。指紋・カードの最大登録数については、取扱説明書をご参照ください。

通行許可ユーザの削除

- 【通行許可ユーザ】リストから削除したいユーザ名をクリックします。
- 【通行許可の解除】ボタンを押します。



- 削除したいユーザの【反映】カラムに『削除』と表示されていることを確認して下さい。
- 【ゲートに反映】ボタンを押します。完了するまでに、1ユーザあたり数秒の時間がかかります。
- 削除したいユーザが【通行許可ユーザ】リストから削除されていれば、削除完了です。

■6.5 アンチパスバックの設定

アンチパスバック(Anti-Pass Back)とは、1つのドアに入室用・退室用の認証装置を用意して、入室時に認証した人しか退室時に認証されないようなしくみのことです。不正な方法で入室した人は退室時にエラーとなります。また、すでに入室した人からカードを受け取ってもう一度入室を試みてもエラーとなります。入退室を厳重に管理したい場合などに有効です。

- 1台のSD-Gate Vの、2つの指紋認証ユニットを「入室ゲート」「退室ゲート」として登録すると、画面下のアンチパスバック設定ウィンドウに表示があらわれます。

ゲート情報

ゲートID: 00003 クライアントID: 1. 2.

ゾーン: 開発部B棟

ゲート名: 会議室1

IPアドレス: 192.168.1.248 : 3001

備考:

入室ゲート 退室ゲート

入室ゲート

ゲート情報

ゲートID: 00004 クライアントID: 1. 2.

ゾーン: 開発部B棟

ゲート名: 会議室1

IPアドレス: 192.168.1.248 : 3001

備考:

入室ゲート 退室ゲート

退室ゲート

Anti-Passback 設定 (*ダブルクリックにより、Anti-Passback ON/OFF)								
入室ゲートID	ゲート名	クライアント	退室ゲートID	ゲート名	クライアント	Anti-Passback	IPアドレス	PortNo
00003	会議室1	1	00004	会議室1	2	OFF	192.168.1.248	3001

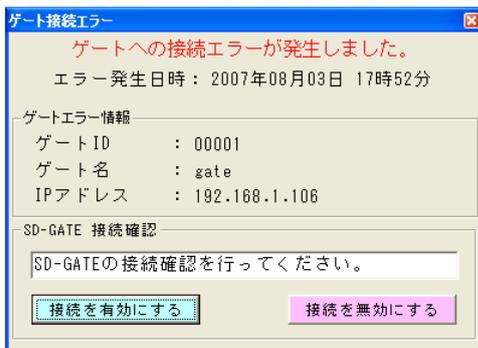
- アンチパスバック機能を有効にしたいゲートを選択し、ダブルクリックしてください。
- 【Anti-Pass Back】カラムが「ON」になれば設定完了です。OFFにするには、再度ゲートを選択してダブルクリックします。

Anti-Passback 設定 (*ダブルクリックにより、Anti-Passback ON/OFF)								
入室ゲートID	ゲート名	クライアント	退室ゲートID	ゲート名	クライアント	Anti-Passback	IPアドレス	PortNo
00003	会議室1	1	00004	会議室1	2	ON	192.168.1.248	3001

■6.6 接続エラーについて

接続エラーメッセージ

SDM-V は、起動している間は「接続中」のゲートに対して常にログ収集の巡回を行っています。SDM-V の起動中に SD-Gate V への接続エラーが発生すると、次のようなエラーメッセージが表示されます。



このメッセージが表示された場合、【接続を有効にする】ボタンを押して、再接続してください。それでもエラーとなる場合は、【接続を無効にする】ボタンを押して当該のSD-Gate V との接続を切断し、PC および SD-Gate V の接続を確認してください。

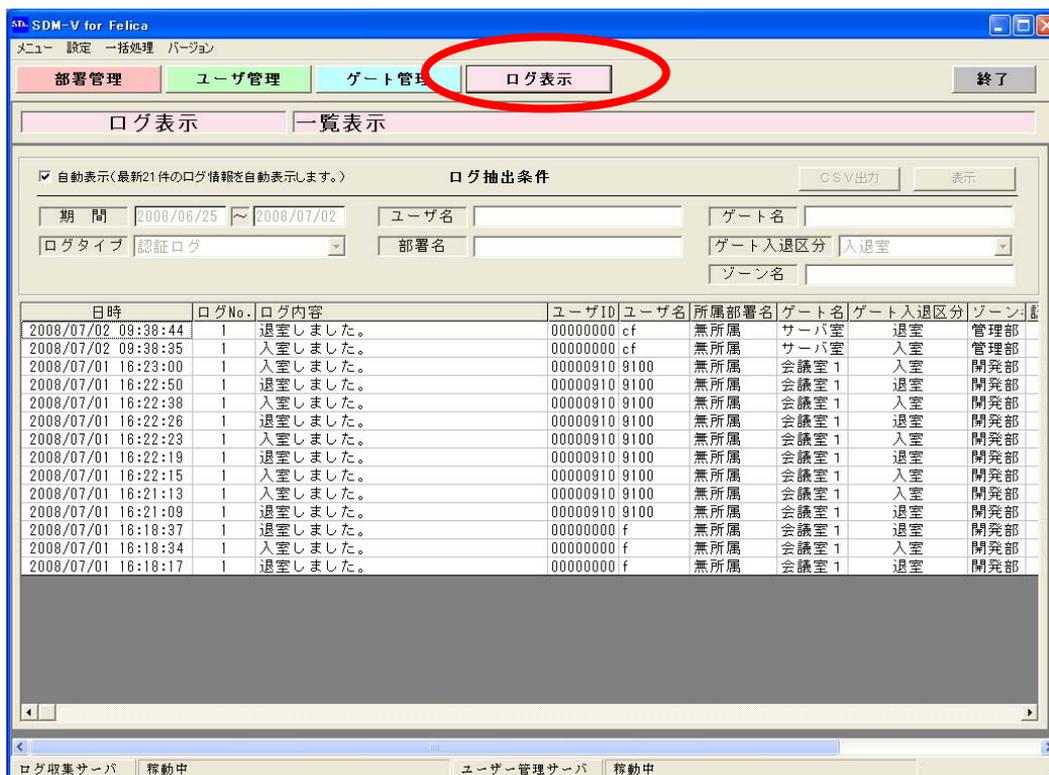
接続エラーログ

ゲート接続エラーが発生すると、SDM-V のインストールフォルダ（デフォルトでは C:\Program Files\SecureDesign\SDMV_F (または SDMV_M)) に errorlog.txt というファイルが作成され、CSV 形式でエラーログが記録されます。日時、エラー番号、エラー内容、ゲート ID が保存されます。接続エラーの際にご確認いただくことをおすすめします。

例) 2007/06/08,16:15:29,9001,ゲート接続エラー【00105】

7. ログ表示

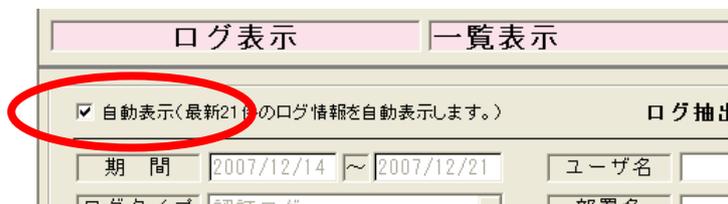
SD-Gate V から収集されたログは SDM-V データベースに保存されます。これらのログを、期間、ログタイプ、ユーザ名、部署名、ゲート名、入退区分、ゾーン名で検索し、表示することができます。また、CSV 出力することもできます。【ログ表示】ボタンを押すか、左上の【メニュー】から【ログ表示】を選択して下さい。



■7.1 ログ表示

指定した条件に一致するログを検索して表示します。【自動表示】がチェック ON の場合は、条件に一致する最新のログを自動的に表示します。

1. 【自動表示】がチェック ON の場合はチェックをはずします。



2. ログ抽出条件を指定します。(※抽出条件は、期間、ログタイプ、ユーザ名、部署名、ゲート名、入退区分、ゾーン名の7つです。)
3. 【表示】ボタンを押すか、【自動表示】をチェック ON にします。
4. 上記1. で指定した抽出条件に一致したログがリスト表示されます。



■7.2 ログのCSV出力

指定した条件のログをCSVファイルに出力します。(CSVとは、項目を「, (カンマ)」で区切ってつなげたデータファイルです。) 自動出力については「8.1 ログの自動出力」をご参照ください。

1. 【自動表示】がチェックONの場合は、チェックを外します。
2. ログ抽出条件を指定します。(※抽出条件は、期間、ログタイプ、ユーザ名、部署名、ゲート名、入退区分、ゾーン名の7つです。ログタイプについては次ページをご参照ください。)
3. 【表示】ボタンを押します。
4. 指定した抽出条件のログが表示されたのを確認し、【CSV出力】ボタンを押します。



5. 【名前を付けて保存】画面が表示されたら、保存する場所とファイル名を指定して【保存】ボタンを押します。
6. 指定した場所に指定した名前のCSVファイルが保存されていれば完了です。

■7.3 ログの保存期間

ログの保存期間は最大 90 日間となっており、指定期間を超過したログは自動的に削除されます。(ログの保存期間の指定方法については「8.2 日次処理の設定」をご参照ください。) 長期間のログの保管を行う場合は、定期的にログの CSV 出力をおこなう(「7.2 ログの CSV 出力」をご参照ください)か、またはログの自動出力機能を「する」に設定しておく(「8.1 ログの自動出力」をご参照ください)ことをおすすめします。

■7.4 ログ収集について

ログの収集は、SDM-V が「接続中」の SD-Gate V を巡回して自動的に収集するしくみになっています。巡回は約 5 秒間隔で行われます。

＜ ログの収集を中止する場合 ＞

すべての SD-Gate V との接続を切断します。(SD-Gate V の接続・切断方法については、ゲート管理の「6.4. 詳細設定を編集」をご参照ください。)

＜ ログの収集の秒間隔を変更する場合 ＞

1. SDM-V が起動している場合は、終了してください。
2. SDM-V のインストールフォルダ (デフォルトでは C:\Program Files\SecureDesign\SDMV_F (または SDMV_M)) にある「SDMV.ini」というファイルの変更を行いますので、変更前にバックアップを取ってください。
3. 「SDMV.ini」をテキストエディタでひらき、次の記述を変更します。

```
LOG_WAIT_INTERVAL=5
```

「LOG_WAIT_INTERVAL=」のあとに秒数を指定します。デフォルトでは 5 秒間隔に設定されていますが、たとえば、1 分間隔に変更したいときは次のように記述を変更します。

```
LOG_WAIT_INTERVAL=60
```

4. 変更したら、かならず「SDMV.ini」ファイルを保存します。
5. SDM-V を起動し、【ログ表示】画面でログの入るスピードを確認し、収集の間隔が変更されたことを確認してください。

■7.5 ログ表記について

保存されるログは次のとおりです。

ログ発生タイミング	ログ番号	ログ表記	ログタイプ	解説
指紋・カード認証を行ったとき	1	入室しました。 退室しました。	認証ログ	認証が成功すると記録されるログです。入室用のゲートだと「入室しました」、退室用のゲートだと「退室しました」になります。
	18	開錠しました。	操作ログ	認証が成功し、開錠が行われたログです。上記ログ番号1と常にセットで記録されます。
開錠スイッチを使用したとき	24	開錠スイッチで開錠しました。”	操作ログ	開錠スイッチを使用してドアを開けたときに記録されます。
	25	開錠スイッチでの開錠を終了しました。	操作ログ	開錠スイッチを使用してドアを開けたあと、ふたたび施錠されたことを意味します。
ゲートの設定を変更したとき	32	デバイスの設定：半ドア検知機能 - OFF	操作ログ	ドアセンサーが接続されていて、半ドア検知時にアラームを鳴らすよう設定変更されたときに記録されます。
	33	デバイスの設定：半ドア検知機能 - ON	操作ログ	半ドア検知時にアラームを鳴らさないよう設定変更されたときに記録されます。
	209	デバイスの設定：開錠の設定 - 常に施錠	操作ログ	認証を行っても施錠したままにしておく設定に変更したときに記録されるログです。SD-Gate V に電源を入れたときにも記録されることがあります。
	210	デバイスの設定：開錠の設定 - 常に開錠	操作ログ	つねに開錠する設定に変更したときに記録されるログです。SD-Gate V に電源を入れたときにも記録されることがあります。
	211	デバイスの設定：開錠の設定 - 認証して開錠	操作ログ	認証成功すると開錠する設定に変更したときに記録されるログです。SD-Gate V に電源を入れたときにも記録されることがあります。
電源を入れたとき	144	デバイスに電源が入りました。	操作ログ	SD-Gate V の電源が入ったときに記録されます。
半ドアを検知したとき	48	警告：半ドア検知を開始しました。	エラーログ	ドアセンサーが接続されていて、ドアが開けばなしになっていることを検知したときに記録されます。
	49	警告：半ドア検知を終了しました。	エラーログ	ドアが閉まり、半ドア状態が終了したときに記録されます。
認証エラーのとき	231	指紋が一致しませんでした。	エラーログ	・指紋認証がエラーとなったときに記録されます。 ・IC カード+指紋で登録しているユーザが、IC カードの読み込みを行わずに指紋認証を行ったときに記録されます。
	234	カードIDが見つかりませんでした。	エラーログ	未登録の IC カードの読み込みを行ったときに記録されます。
	236	照合を中止しました。	エラーログ	アンチバスバック機能がONのとき、同じユーザの連続入室・連続退室がおこなわれたときに記録されます。

8. その他の設定

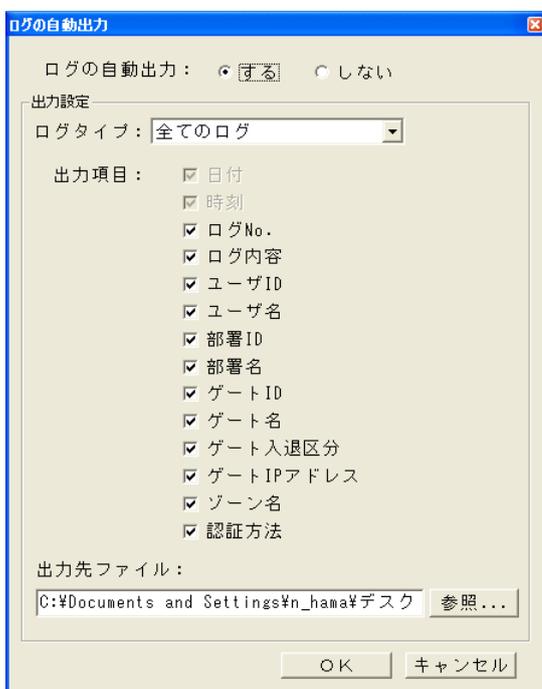
■8.1 ログの自動出力

ログを自動でCSVファイルに出力します。(CSVファイルとは、各項目のデータを「,(カンマ)」で区切ってつなげたファイルです。)

1. 左上の【設定】から【ログの自動出力】を選択すると、以下の画面が表示されます。



2. ログの自動出力を行う場合【する】を選択し、出力したい項目にチェックを入れ、出力先ファイルを指定します。行わない場合【しない】を選択します。



3. 【OK】ボタンをクリックします。
4. 出力先ファイルをテキストエディタで開き、上記で選択した項目が出力されていることを確認してください。

```
2007/12/25, 13:10:25, 1, 入室しました, 0000058901, セキユア花子, 00001, 総務部, サーバ室, 入室, 192.168.1.101, 本社, 指紋
2007/12/25 13:55:31 1 退室しました 0000058901 セキユア花子 00001
```

※【ログの自動出力】の機能をつかってCSVファイルに出力されるログは、自動出力を【する】に設定した時点からあとに収集されるログです。自動出力を設定するより前のログをCSVファイルに出力したい場合は、「7.2 ログのCSV出力」の方法で出力します。

※出力先ファイルにログが出力されないときは、画面左下の【ログ収集サーバー】のところにエラーメッセージが表示されていないか確認してください。「ログ出力ファイルエラー」と表示されている場合、出力先ファイルのドライブ名・フォルダ名が間違っているか、またはファイルにロックがかかっている場合があります。

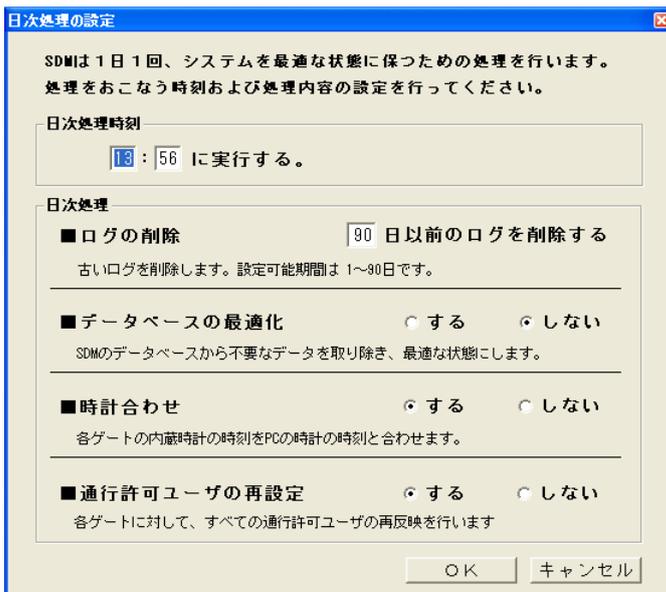
■8.2 日次処理の設定

SDM-V では1日に1回、SD-Gate V の内蔵メモリのデータとPCのSDM-V データベースのデータとの整合性を維持するため、指定の時刻に自動的に処理を行います。これを日次処理といいます。

1. 左上の【設定】から【日次処理の設定】を選択します。



2. 日次処理の設定画面が表示されます。



3. 【日次処理時刻】: 4.以降で設定する機能の実行時刻を指定します。ただし、この時刻にSDM-V が起動していない場合は日次処理は実行されません。



4. 【ログの削除】: SDM-V のデータベースに保存されたログのうち、保存期間を過ぎたログを削除します。保存期間を1~90日の範囲で指定できます。



5. 【データベースの最適化】：SDM-V データベースから不要なメモリを削除して、データベースの最適なサイズとパフォーマンスを保ちます。

■データベースの最適化 する しない
SDMのデータベースから不要なデータを取り除き、最適な状態にします。

6. 【時計合わせ】：接続中のSD-Gate V に対して、PC の時刻をSD-Gate V の内蔵時計にセットします。未接続のSD-Gate V には行われません。

■時計合わせ する しない
各ゲートの内蔵時計の時刻をPCの時計の時刻と合わせます。

7. 【通行許可ユーザの再設定】：SD-Gate V に登録されているユーザと、SDM-V に登録されている通行許可ユーザを照合し、最新の状態をSD-Gate V に反映しなおします。SDM-V のユーザ情報を更新したまま反映し忘れる等のミスを防ぎます。

■通行許可ユーザの再設定 する しない
各ゲートに対して、すべての通行許可ユーザの再反映を行います

8. 【OK】 ボタンを押すと、設定完了です。SDM-V を起動しているときは、設定した時刻になるとこれらの処理が実行されます。

- 注意 -

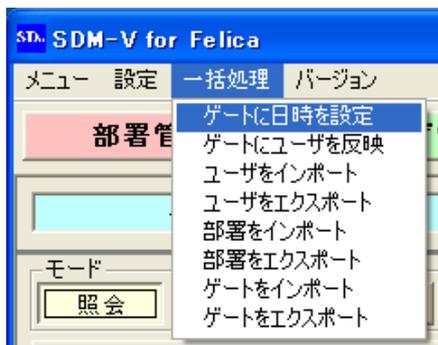
ユーザ管理画面またはゲート管理画面において、通行許可ユーザ（通行許可ゲート）を追加・削除したあと【ゲートに反映】を行わないままの状態での日次処理の【通行許可ユーザの再設定】の機能が実行されると、それらのユーザ（ゲート）についても【ゲートに反映】の処理の対象となり、自動的に反映されます。

9. 一括処理

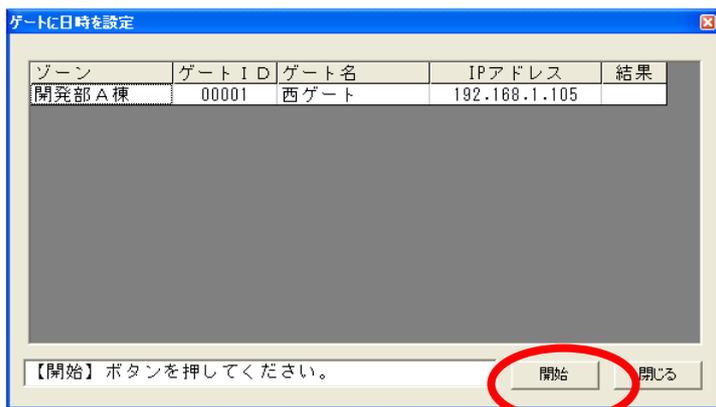
■9.1 ゲートに日時を設定

PCの現在の日時をSD-Gate Vにセットします。

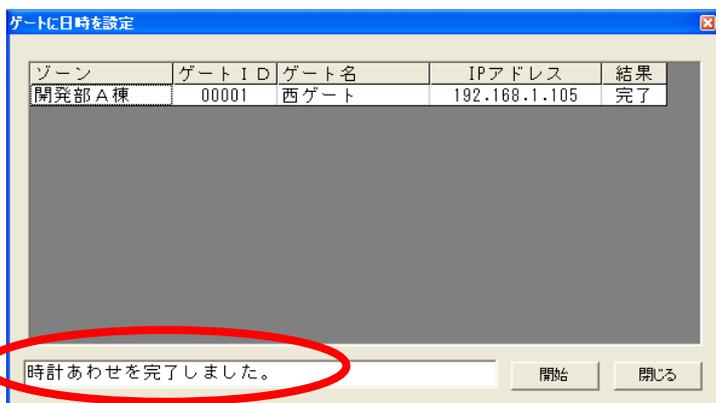
1. 左上の【一括処理】から【ゲートに日時を設定】を選択します。



2. 接続中のゲートリストが表示されます。【開始】ボタンを押すと、時計合わせが実行されます。



3. 『時計合わせを完了しました。』と表示されたら完了です。

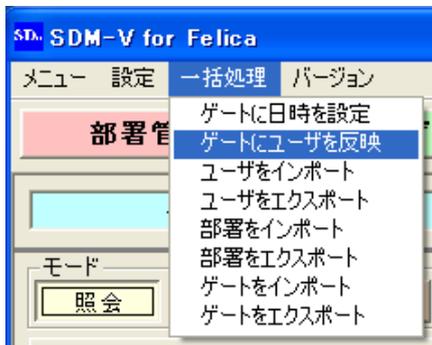


4. 【閉じる】ボタンを押して終了して下さい。

■9.2 ゲートにユーザを反映

「5. ユーザ管理」でユーザごとに設定した通行許可ゲート、または「6. ゲート管理」でゲートごとに設定した通行許可ユーザの情報を、まとめて一括してSD-Gate V に反映します。

1. 左上の【一括処理】から【ゲートにユーザを反映】を選択します。

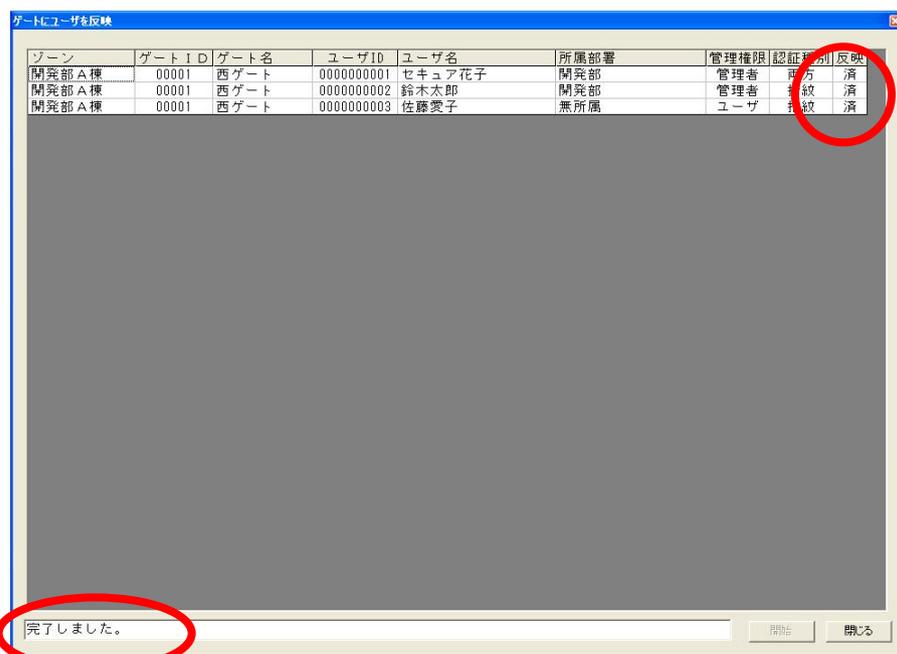


2. この時点でまだ通行許可ゲートに反映されていないユーザのリストが表示されます。通行許可ゲートが未接続の場合は表示されません。（※『ゲートに反映されていないユーザ』とは、【反映】カラムに追加、変更、削除のどれかが表示されているユーザです。）

ゾーン	ゲートID	ゲート名	ユーザID	ユーザ名	所属部署	管理権限	反映種別	反映
開発部 A棟	00001	西ゲート	0000000001	セキュア花子	開発部	管理者	両方	削除
開発部 A棟	00001	西ゲート	0000000002	鈴木太郎	開発部	管理者	指紋	変更
開発部 A棟	00001	西ゲート	0000000003	佐藤愛子	無所属	ユーザ	指紋	追加

【開始】 ボタンを押してください。 開始 閉じる

3. 【開始】 ボタンを押すと、処理が実行されます。（1 ユーザを1ゲートに反映するのに数秒～数十秒かかります。）
4. 『完了しました。』と表示され、一番右の【反映】カラムに「済」と表示されれば、反映完了です。

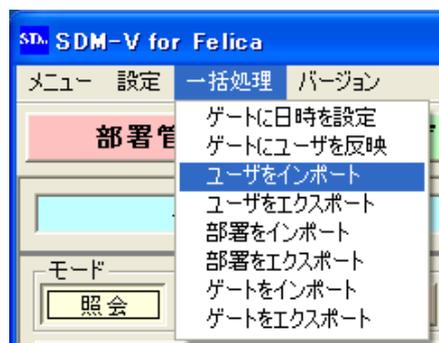


5. 【閉じる】ボタンを押して終了して下さい。

■9.3 ユーザをインポート

CSV ファイルから、ユーザ情報をインポートします。(CSV とは、項目を「, (カンマ)」で区切ってつなげたデータファイルです。)

1. 左上の【一括処理】から【ユーザをインポート】を選択します。



2. ユーザインポート画面が表示されます。インポートする項目のチェックボックスを ON にします。

ユーザ ID …………… 必須項目です。自動 ID を選択すると、【先頭 ID】に指定した番号から連番を自動で割り当てます。

ユーザ名 …………… 必須項目です。

ユーザ名(ローマ字) …… 必須項目です。

部署 …………… チェック ON の場合、ユーザの所属部署を次に説明する【部署 ID】・【部署名】のいずれか、または両方で指定します。チェック OFF の場合は、ユーザの部署はすべて「無所属」で登録されます。

…………… ※【未登録の部署を自動登録】にチェックを入れると、未登録の部署が指定してあった場合ユーザインポートと同時に部署登録されます。

部署 ID …………… ユーザの所属部署を部署 ID で指定します。【未登録の部署を自動登録】チェック ON の場合は必須項目です。

部署名 …………… ユーザの所属部署を部署名で指定します。【未登録の部署を自動登録】チェック ON の場合は必須項目です。

備考 …………… 任意項目です。

ゲート権限 …………… 任意項目です。ユーザの権限を指定します。チェック OFF の場合はユーザ権限で登録されます。

3. インポートファイルを準備します。テキストエディタ等を使って、2.で選択した項目を「,(カンマ)」でつなぎます。項目の並び順は、2.の画面での項目の並び順と同じにします。

ユーザ ID …………… 数字 10 桁以内、必須 ※自動 ID の場合はインポート項目に含みません

ユーザ名 …………… 全半角 25 字以内

ユーザ名(ローマ字) …… 英数字 50 字以内

部署 ID …………… 数字 5 桁以内

部署名 …………… 全半角 12 字以内

備考 …………… 全半角 12 字以内、空白可

ゲート権限 …………… 「ユーザ」の場合は 1、「管理者」の場合は 2（半角数字）

（例）

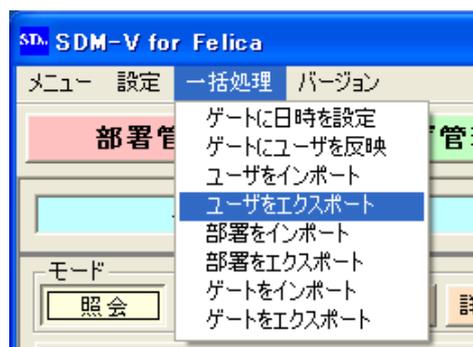
10001, セキュア花子, secure hanako, 102, 総務部, 2007 年入社, 1
10002, セキュア太郎, secure tarou, 103, 営業部, , 2

4. 【参照】ボタンを押し、作成した CSV ファイルを指定します。
5. 【開始】ボタンをクリックすると、インポートを開始します。CSV ファイルにエラーが存在した場合エラーメッセージが表示され、処理が中止されます。メッセージにしたがってデータを修正してください。【ユーザ ID が登録済みの場合、上書きする】をチェック ON にすると、ユーザ ID がすでに登録されているデータの場合、インポートデータで上書きされます。
6. 上書きインポートで既存ユーザのゲート権限を更新した場合、【ゲートに反映】を行う必要が発生することがあります。【一括処理】>【ゲートにユーザを反映】画面を表示して、未反映のユーザがあるかどうかを確認してください。

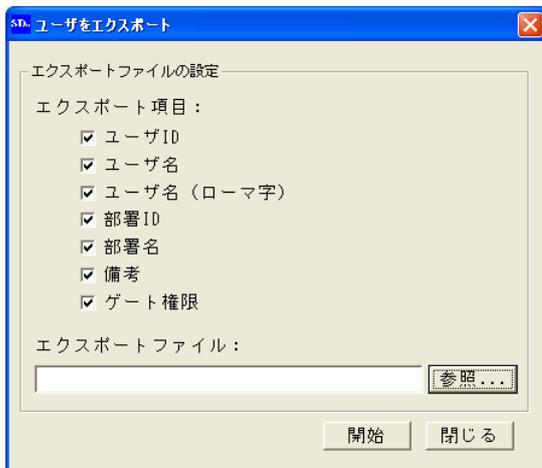
■9.4 ユーザをエクスポート

ユーザ情報を CSV ファイルへエクスポートします。

1. 左上の【一括処理】から「ユーザをエクスポート」を選択します。



2. ユーザエクスポート画面が表示されます。エクスポート項目を選択し、エクスポート先となるCSVファイルを指定します。CSVファイルにおける項目の並び順は、この画面での項目の並び順と同じになります。



3. 【開始】ボタンをクリックすると、エクスポートを開始します。

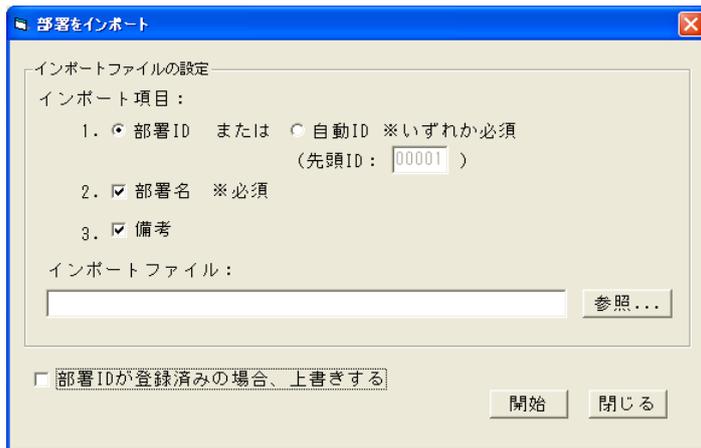
■9.5 部署をインポート

CSVファイルから、部署情報をインポートします。(CSVとは、項目を「,(カンマ)」で区切ってつなげたデータファイルです。)

1. 左上の【一括処理】から【部署をインポート】を選択します。



2. 部署インポート画面が表示されます。インポートする項目のチェックボックスをONにします。



部署ID…………… 必須項目です。自動IDを選択すると、【先頭ID】に指定した番号から連番を自動で割り当てます。

部署名…………… 必須項目です。

備考…………… 任意項目です。

3. インポートファイルを準備します。テキストエディタ等を使って、2.で選択した項目を「,(カンマ)」でつなぎます。項目の並び順は、2.の画面での項目の並び順と同じにします。

部署ID…………… 数字5桁以内、必須 ※自動IDの場合はインポート項目に含みません

部署名…………… 全半角12字以内

備考…………… 全半角12字以内、空白可

(例)

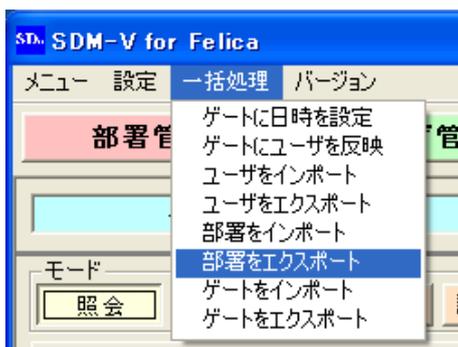
```
102, 総務部,  
103, 営業部, 1998年創設
```

4. 【参照】ボタンを押し、作成したCSVファイルを指定します。
5. 【開始】ボタンをクリックすると、インポートを開始します。CSVファイルにエラーが存在した場合エラーメッセージが表示され、処理が中止されます。メッセージにしたがってデータを修正してください。【部署IDが登録済みの場合、上書きする】をチェックONにすると、部署IDがすでに登録されているデータの場合、インポートデータで上書きされます。

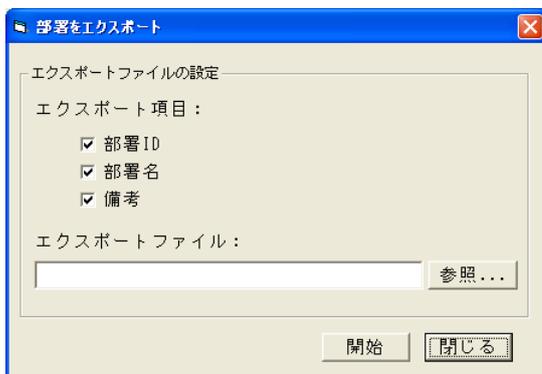
■9.6 部署をエクスポート

部署情報をCSVファイルへエクスポートします。

1. 左上の【一括処理】から【部署をエクスポート】を選択します。



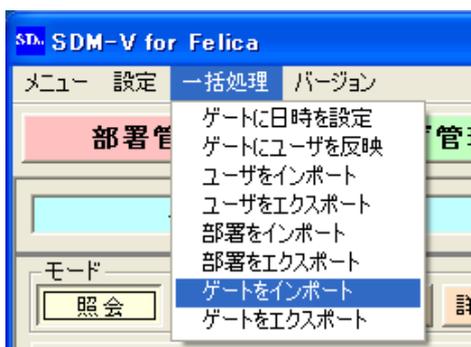
2. 部署エクスポート画面が表示されます。エクスポート項目を選択し、エクスポート先となるCSVファイルを指定します。CSVファイルにおける項目の並び順は、この画面での項目の並び順と同じになります。（※「無所属」はシステム値のため出力されません。）



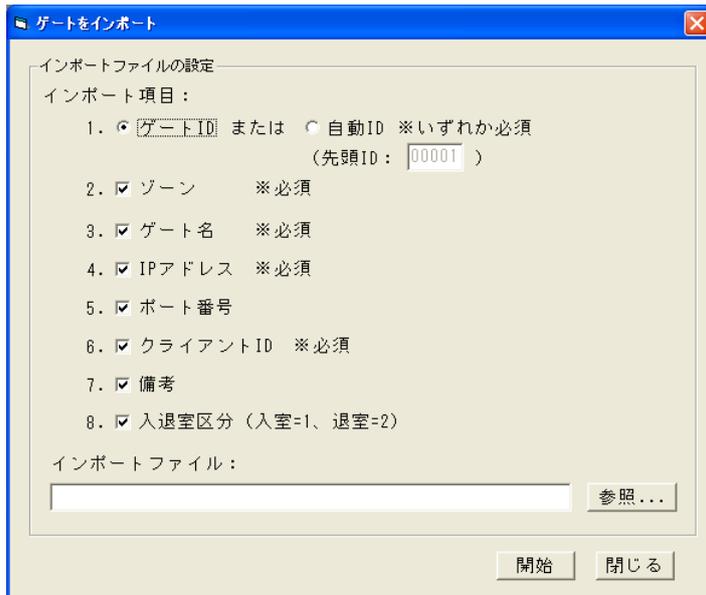
■9.7 ゲートをインポート

CSVファイルから、ユーザ情報をインポートします。（CSVとは、項目を「,(カンマ)」で区切ってつなげたデータファイルです。）

1. 左上の【一括処理】から【ゲートをインポート】を選択します。



2. ゲートインポート画面が表示されます。インポートする項目のチェックボックスをONにします。



ゲート ID…………… 必須項目です。【自動 ID】を選択すると、【先頭 ID】に指定した番号から連番を自動で割り当てます。

ゾーン…………… 必須項目です。SD-Gate V の設置場所をわかりやすくグループ化します。

ゲート名…………… 必須項目です。

IP アドレス…………… 必須項目です。SD-Gate V に設定した IP アドレスを指定します。

ポート番号…………… 任意項目です。チェック OFF の場合は「10001」で登録されます。

クライアント ID…………… 必須項目です。ゲート（指紋認証ユニット）が接続しているコントローラユニットのクライアント番号を指定します。

備考…………… 任意項目です。

入室区分…………… 任意項目です。SD-Gate V が入室用か退室用かを指定します。チェック OFF の場合、インポートされた SD-Gate V はすべて「入室」で登録されます。

3. インポートファイルを準備します。2.で選択した項目にあわせて、CSV ファイルを作成します。項目の並び順は、2.の画面での項目の並び順と同じにします。

ゲート ID…………… 数字5桁以内・※自動 ID の場合はインポート項目に含みません

ゾーン…………… 全半角 15 字以内

ゲート名…………… 全半角 25 字以内

IP アドレス…………… 0～255 の数字4つを「. (ピリオド)」で区切ったもの

ポート番号…………… 数字6桁以内

クライアント ID…………… ゲート（指紋認証ユニット）がコントローラユニットの「クライアント1」に接続している場合は 1、「クライアント2」に接続している場合は 2

備考…………… 全半角 12 字以内、空白可

入室区分…………… 「ユーザ」の場合は 1、「管理者」の場合は 2（半角数字）

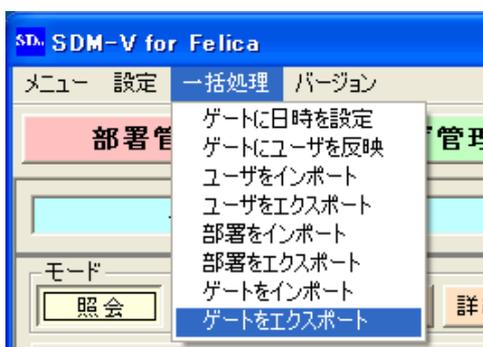
25001, 本社 2F, 会議室 1, 192. 168. 1. 101, 3001, 1, 2007 年設置, 1
 25002, 本社 2F, 会議室 1, 192. 168. 1. 102, 3001, 2, 2007 年設置, 2

4. 【参照】ボタンを押し、作成した CSV ファイルを指定します。
5. 【開始】ボタンをクリックすると、インポートを開始します。CSV ファイルにエラーが存在した場合エラーメッセージが表示され、処理が中止されます。メッセージにしたがってデータを修正してください。

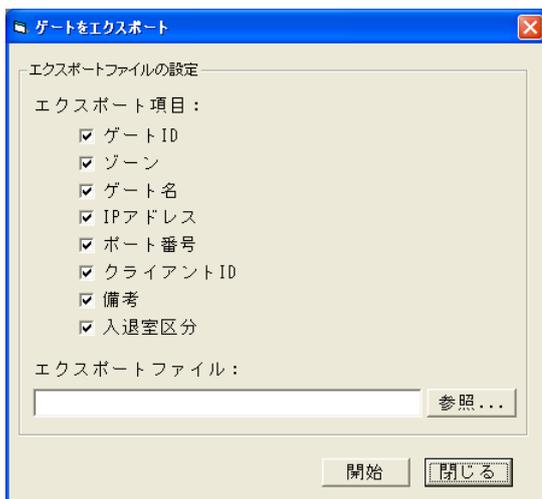
■9.8 ゲートをエクスポート

ゲート情報を CSV ファイルへエクスポートします。

1. 左上の【一括処理】から【ゲートをエクスポート】を選択します。



2. ゲートエクスポート画面が表示されます。エクスポート項目を選択し、エクスポート先となる CSV ファイルを指定します。CSV ファイルにおける項目の並び順は、この画面での項目の並び順と同じになります。



10. バックアップとリカバリ

PC やハードディスクの故障などに備え、定期的にデータのバックアップを取ることをおすすめします。また、古い PC から新しい PC に SDM-V を移行するときや、SDM-V の再インストールを行うときも、バックアップとリカバリを行うことで元の状態のままの SDM-V を継続して使うことができます。

■10.1 データのバックアップ

SDM-V が起動中であれば終了し、次の4つのファイルを、USB メモリや外部ハードディスク、別の PC などに保管してください。

- 1) C:\Program Files\SecureDesign\SDMV_F\SDMV.ini
- 2) C:\Program Files\SecureDesign\SDMV_F\template.dat
- 3) C:\Program Files\SecureDesign\SDMV_F\GateLock.dat
(※SDM-V for Mifare の場合は、C:\Program Files\SecureDesign\SDMV_M)
- 4) C:\Program Files\SDMV\DATA\SDMV.mdb

上記はデフォルトのインストール先の例です。インストール時にインストール先を変更した場合は、それぞれに対応した場所のファイルを保管してください。

※ 2台以上の PC でご利用の場合（「2.4 2 台以上の PC に SDM-V をインストールする場合」参照）は、各 PC の 1)のファイル、および SDM-V サーバの 2)-4)のファイルを保管してください。

- 注意 -

ログは設定日数を過ぎると自動的に削除されます。ログのバックアップについては、CSV ファイル出力をおすすめします（「7.2 ログの CSV 出力」「7.3 ログの保存日数」参照）。

■10.2 データのリカバリ

＜ SDM-V データベースをバックアップ時の状態に戻したい場合 ＞

「10.1 データのバックアップ」で保管したバックアップファイルを、それぞれに対応した場所に上書きコピーし、SDM-V を起動します。

＜ 別の PC で SDM-V を使用する場合 または 再インストールを行う場合 ＞

「10.1 データのバックアップ」を行ってから、SDM-V のインストールまたは再インストールを行い、バックアップファイルをそれぞれに対応した場所に上書きコピーし、SDM-V を起動します。

- 注意 -

リカバリによって、SDM-V のデータはバックアップ時の状態に戻りますが、SD-Gate V 本体に反映されているユーザ情報はリカバリ前のままです。SDM-V データベースのユーザ情報と SD-Gate V のユーザ情報が一致しない可能性があり、注意が必要です。このままバックアップ時に戻した状態で SDM-V の使用を再開する場合は、次の「10.3 データの再反映」の作業を必ず行ってください。

■10.3 データの再反映

PC の故障などによって SDM-V の再インストールを行ったときに、バックアップファイルがなかったり、古いバックアップファイルしかなく完全なリカバリが行えないような場合には、注意が必要です。このような場合、SDM-V データベースのユーザ情報と、SD-Gate V に登録されているユーザ情報とが、完全には一致しない状態になることがあります。

また、SD-Gate V を交換した場合にも、SDM-V データベースのユーザ情報が SD-Gate V に登録されていなかったり、以前に登録された情報が SD-Gate V に残っている可能性があります。

これらの問題を解決するためには、SDM-V データベースのユーザ情報を再度 SD-Gate V に反映し、また SDM-V データベースにはないユーザ情報を SD-Gate V から消去する処理が必要です。日次処理(くわしくは「8.2 日次処理の設定」参照)を行って、ユーザ情報の再反映をおこなってください。

- 注意 -

- ・ SD-Gate V にすでに登録されているユーザ情報のうち、リカバリした SDM-V データベース内には存在しないユーザ情報があった場合、この処理によって SD-Gate V から登録が削除されます。
- ・ SDM-V データベースのユーザ情報が空の状態での処理を実行すると、すべての SD-Gate V の登録ユーザ情報が消去されます。

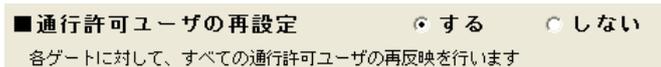
1. ゲート管理画面を表示し、すべてのゲートを「接続中」にします。(「6. ゲート管理」参照)
2. 左上の【設定】から【日次処理の設定】を選択します。



3. 日次処理の設定画面が表示されます。
4. 【日次処理時刻】で PC の時刻の数分後を入力します。



5. 【通行許可ユーザの再設定】で「する」を選択します。



6. 【OK】ボタンを押して画面を閉じます。PC が【日次処理時刻】で設定した時刻になると、日次処理がはじまり、SDM-V データベースのユーザ情報が SD-Gate V に再登録されます。ユーザ数が多い場合、しばらく時間がかかることがあります。
7. 日次処理が終了したら、4.で変更した時刻を元にもどします。

11. よくある質問

<インストールに関する質問>

Q. 現在 SDM-V for FeliCa を使っていますが、Mifare カードを使用できますか？

A. SDM-V では、FeliCa カードと Mifare カードを混在して使うことができません。すべてのカードを Mifare カードに切り替える場合は、現在インストールされている SDM-V for FeliCa をアンインストールし、SDM-V for Mifare をインストールする必要があります。

<起動・ログインに関する質問>

Q. ログインなしで起動するようにできますか？

A. 登録されているユーザの中に、管理者権限のユーザがいると、起動時に管理者によるログインが必要になります。ログインなしで起動したい場合は、現在「管理者権限」で登録されているユーザをすべて「ユーザ権限」に変更します。変更の方法については「5.4 ユーザ情報の詳細設定を編集」内の「ゲート権限の選択」をごらんください。

Q. 管理者が不在のときに SDM-V にログインする方法はありますか？

A. ログインには管理者のカードまたは指紋の認証が不可欠です。管理者不在とならないよう、複数人の管理者を設定することをおすすめします。

Q. 管理者が退職して連絡がとれなくなってしまいました。SDM-V を使うにはどうすればよいでしょうか？

A. このような場合は、SDM-V にすでに登録されたデータは使用することができません。使用を再開するには、SDM-V をアンインストールして再度インストールしなおし、すべてのデータを最初から登録しなおす必要があります。これらの処理については、「10. バックアップとリカバリ」をごらんください。

Q. 指紋でログインしようとしたら、「指紋の登録・照合には、SD-Gate V の接続を有効にする必要があります」というエラーメッセージが出て、ログインできません。

A. ログイン時に指紋認証を行うには、少なくとも1台の SD-Gate V が SDM-V に登録されていて、接続が有効になっている必要があります。1台も SD-Gate V が登録されていなかったり、登録されているゲートの接続がすべて無効になっている場合は、ログイン時に指紋認証をおこなうことができません。管理者を登録する場合は、IC カードとの併用での登録を強くお勧めします。

<指紋に関する質問>

Q. 指紋スキャナを USB ポートに接続しているのに「スキャナを接続しなおしてください」と表示されます。

A1. 「2.2 指紋スキャナのドライバのインストール」をご参照になり、ドライバがインストールされていること、および COM ポート番号が 1~9 の範囲内であることを確認してください。

A2. SDM-V の起動中に指紋スキャナを USB ポートからはずして差し込みなおすとエラーとなります。その場合はいったん SDM-V を終了し、USB ポートから指紋スキャナをはずして差し込みなおし、SDM-V を再度起動してください。

Q. 指紋を登録し、通行許可ゲートに追加・反映しましたが、ゲートで認証できません。

A1. ユーザ管理画面の通行許可ゲートのリストを表示して、【反映】カラムが「済」になっていることを確認して

ください。「済」になっていなければ、【ゲートに反映】ボタンを押してください。

A2. 指紋をSDM-Vで登録するときにスキャナに指を置く角度や強さを、SD-Gate Vのセンサーに指を置くときと同じような状態にすると、認証しやすくなります。「5.4 詳細を編集」の<正しい指の置き方>を参考にしてください。

Q. 指紋認証がエラーになることが、登録したばかりのころよりも増えたような気がします。

A. 指紋の特徴点は、基本的には個人に固有のものであり変化しませんが、汗や皮脂、傷などによってはセンサーの読取りが悪くなることがあります。また、ときどき指紋を登録しなおすことで、精度が改善することがあります。

Q. 指紋認証に時間がかかることがあります。

A1. ログの収集中や日次処理中は、認証に若干時間がかかることがあります。

A2. 1台のSD-Gate Vの2つの指紋認証ユニットで、同時に指紋認証をおこなうと、認証に時間がかかることがあります。

A3. 「指紋のみ」の認証方法だと、入力された指紋をすべての登録指紋と照合する「1:N照合」が行われるため、指紋の登録数が増えるほど照合に時間がかかります。「ICカード+指紋」の認証方法にすると「1:1照合」になるため、認証がすばやく行えます。

<ICカードに関する質問>

Q. すでに持っているカードを使うことはできますか？

A. FeliCa または Mifare は登録できます。Suica 定期券や Edy, Felica 機能付き携帯電話などを登録することができます。

Q. ICカードを登録し、通行許可ゲートに追加・反映しましたが、ゲートで認証できません。

A1. ユーザ管理画面の通行許可ゲートのリストを表示して、【反映】カラムが「済」になっていることを確認してください。「済」になっていなければ、【ゲートに反映】ボタンを押してください。

A2. SD-Gate V 一台につき登録可能なユーザ数は 10,000 です。この数を超えると、SDM-V で【ゲートに反映】の処理ができません。

Q. 落とし物のカードが届きました。誰のものか確認できますか？

A. ユーザ管理画面で、そのカードを登録してみてください。「既に利用済みです。UID=XXXXXX」というメッセージが表示された場合、「UID=」以降の番号が、そのカードを登録しているユーザIDです。エラーにならず登録できた場合は、未登録のカードです。(確認が終わったら、必ず仮ユーザを削除してください。)

Q. FeliCa カードから Mifare カードに切り替えたいのですが。

A. SDM-V では、Mifare カードと FeliCa カードのデータを混在した状態でご利用いただくことはできません。Mifare カードから FeliCa カードに利用を切り替える場合は、SDM-V for FeliCa をアンインストールしてから SDM-V for Mifare をインストールする必要があります。

Q. ICカードのデータは一括してインポート・エクスポートできないのですか？

A. カードデータはインポート・エクスポート項目対象外となっております。

Q. 何人かで一枚のカードを共用しているのですが、どのように登録すればいいのでしょうか？

A. SDM-V では一枚のカードを複数人で使用することはできません。

〈ユーザに関する質問〉

Q. 通行許可ゲートに反映しようとする、SD-Gate V のアラームが鳴り、反映できません。

A. SD-Gate V の設定が完了していない可能性があります。SD-Gate V 取扱説明書の「はじめて使うとき」をご参照ください。

〈ゲートに関する質問〉

Q. IP アドレス・ポート番号を登録したけれど接続できません。

A1. SD-Gate V の取扱説明書の「管理ソフトウェア SDM-V の接続」をご参照になり、設定されている IP アドレス・ポート番号をご確認ください。またお使いの PC および SD-Gate が接続されている LAN 等のネットワークの状況をご確認ください。

A2. お使いの PC にウイルス対策ソフト等がインストールされている場合や、ネットワークアクセスに制限が設定されている場合などは、SD-Gate V の IP アドレスに接続できるよう、制限を解除してください。

Q. SDM-V を起動したら「ゲート接続エラー」と表示されました。

A. 前回 SDM-V を終了したあとに、お使いの PC および SD-Gate が接続されている LAN 等のネットワークの状況が変更された可能性があります。ネットワークの状況を確認し、SD-Gate V の取扱説明書の「管理ソフトウェア SDM-V の接続」をご参照になり、IP アドレス等を確認してください。

Q. ゲートのアラームが鳴りっぱなしになりました。どうすればアラームを止められますか？

A1. ドアセンサーが接続されていない状態で、ゲートのセンサー設定が「アラーム ON」となっている可能性があります。ゲート管理の「6.4 詳細設定を編集」のセンサー設定を確認してください。

A2. 火災報知器等を接続している場合は、それらが異常を検知していないか確認してください。

〈ログに関する質問〉

Q. 古いログが消えてしまいました。

A. ログの最大保持期間は 90 日となっています。ログの保持期間は「日次処理の設定」で指定された期間を過ぎると、自動的に削除されます。長期間のログの保管が必要な場合は、ログの CSV ファイル出力をおすすめします。

Q. 「ログの自動出力」を設定しているけれど、出力されません。

A. 出力先ファイルのドライブ名・フォルダ名・ファイル名に間違いがないか確認してください。また、ファイルが「読み取り専用」になっていないか確認してください。

Q. 「ログの自動出力」で出力したファイルには、最近のログしか出力されません。

A. 自動出力で出力されるログは、自動出力を「する」に設定した時点よりもあとに収集されるログです。その時点よりも前のログを CSV 出力する場合は、「7.2 ログの CSV 出力」をご参照ください。

〈システムに関する質問〉

Q. SDMV.mdb というファイルのサイズが大きくなりすぎてしまいました。

A. 「日次処理の設定」で、「データベースの最適化」を「する」に設定して、日次処理を行ってください。mdb ファイルの無駄なスペースが省かれ、最適なサイズとなります。

